

資料一覧

資料No.	資料名	掲載頁
資料 1	本学における地域貢献の取組例	4
資料 2	2010年度(平成22年度)公開講座開催実績	4
資料 3	札幌市立大学大学院デザイン研究科博士後期課程設置に関するアンケート(在学生対象)集計結果	14
資料 4	札幌市立大学大学院デザイン研究科博士後期課程設置に関するアンケート(企業等対象)集計結果	14
資料 5	デザイン研究科博士後期課程教育課程概念図	15
資料 6	専任教員の年齢構成	20
資料 7	公立大学法人札幌市立大学教職員就業規則 抜粋	20
資料 8	公立大学法人札幌市立大学特任教員に関する規程	20
資料 9	デザイン研究科博士後期課程 履修モデル	21
資料 10	デザイン研究科博士論文研究指導スケジュール	21,24
資料 11	公立大学法人札幌市立大学研究倫理規程	22
資料 12	公立大学法人札幌市立大学倫理委員会規程	22
資料 13	デザイン学部とデザイン研究科の関連図	26
資料 14	デザイン研究科博士後期課程時間割	27
資料 15	芸術の森キャンパス院生研究室見取り図	30
資料 16	芸術の森キャンパス図書館 所蔵雑誌一覧	31
資料 17	2011年度(平成23年度)公立大学法人札幌市立大学組織図	36
資料 18	2010年度(平成22年度)FD研修会実績	44

本学における地域貢献の取組例

地域との連携研究例

研究課題	期 間	概 要
IT 活用による遠隔看護システム(E-KANGO)の試験的運用を目的とする調査研究	平成 22 年 10 月～ 現在まで	<p>北海道枝幸町との提携により高齢者や障害者の自宅と、訪問看護ステーションなどをネットで結び、双方に設置されたモニターの映像を通じて看護師や保健師らが健康支援する遠隔看護システムの試用運用を行っている。</p> <p>このシステムは、利用者がネットで血圧値等を送信することで、保健師等が健康状態を確認・助言等を行うことができるため、特に過疎地域での効果に期待が集まっている。研究チームにはデザインの教員も加わり、パソコンや IT に不慣れな高齢者でも操作できるよう使いやすい画面の配置や色、操作方法の工夫を行った。</p> <p>平成 23 年度は、病院と退院した患者の自宅を結んで試験運用を行う計画である。</p>
札幌・福井の冬季入浴時の温熱環境と高齢者の血圧変化の実態調査研究	平成 21 年 10 月 1 日～ 現在まで	<p>高齢者の心疾患・脳血管による浴室での死亡事故は、脱衣室や浴室の低断熱性に起因するとされている。そこで、看護学部の老年看護領域とデザイン学部の空間デザイン(建築環境学)領域が連携し、札幌と福井における冬季入浴時の温熱環境と高齢者の血圧変化について実態調査を行なった。</p> <p>研究の成果は本学主催の市民公開セミナーでの入浴指導法の解説のほか、日本建築学会・日本公衆衛生学会で研究発表を行なった。平成 23 年以降も基礎データの収集を行なう予定である。</p>
ユニバーサルデザイン視点からのビジュアルアイデンティティ研究	平成 21 年 6 月 1 日～ 平成 22 年 2 月 26 日	<p>札幌市円山動物園のモデル経路とサイン配置計画策定に係わる研究を行った。また、園内の案内係・誘導係・記名系サインについて、ユニバーサルデザイン視点からの視認性の検証結果を踏まえてデザイン提案を行った。</p>

専門職支援例

研究課題	期 間	概 要
北の民家モデル構築と普及促進プロジェクトに関する講演会及び講習会等の企画・運営	平成 21 年 6 月 13 日、 10 月 3 日、11 月 9 日、 11 月 16 日、12 月 21 日、 12 月 22 日、 平成 22 年 2 月 22 日	北海道における歴史的建造物の保存再生を目的に設立されたNPO法人北の民家の会において、建築設計・施行関係の技術者を対象に、建造物の保存再生のための建築技術の講演会、保存再生の普及啓蒙等の活動を行った。
認定看護管理者制度サードレベル教育課程	①平成 21 年 8 月 24 日 ～ 9 月 11 日(15 日間) ②平成 21 年 11 月 16 日 ～12 月 4 日(14 日間) ③平成 22 年 1 月 18 日 ～ 1 月 29 日(10 日間) 計 39 日間	保健医療福祉政策論(30 時間)、保健医療福祉組織論(45 時間)、経営管理論(75 時間)、経営者論(30 時間)、その他(30 時間)のプログラムにより、受講者は 8 週間 39 日間を受講し、修了者 12 名を輩出した。
医療機関の看護職を対象とした看護職員研修会の企画・運営	平成 19 年 5 月～現在	本学と札幌市内の医療機関(5 団体)との間で看護職員研修実施に係わる協定を交わしており、例年、本学の看護学部の教員が当該医療機関等に勤務する看護職を対象とした看護職員研修や看護研究指導を行っている。

2010年度(平成22年度) 公開講座 開催実績

1. 本学主催

月 日	講座名	区分※	対象	講座名	講師	受講者数		
						総数	男性	女性
4月24日(土) 14:00-16:00	葛西薫・広告の力	専門 講座	グラフィックデザインを志す学生、市内のデザイン関連の企業・専門家、企業の広報担当者、広告やデザイン、社会全般に興味を持つ市民	葛西薫・広告の力 ー心に届くコミュニケーションを考えるー	葛西薫(アートディレクター)	221	95	126
5月15日(土) 13:30-15:30	訪問看護スキルアップ講座 2010	専門 セミナー	訪問看護師、訪問看護に関心がある看護師の方	Part I 褥瘡ケア講座	高橋 夏絵(社団法人 北海道勤労者医療協会 勤医協中央病院 看護師長、皮膚・排泄ケア認定看護師(WOC看護認定看護師))	53	1	52
11月13日(土) 13:30-15:30		専門 セミナー	訪問看護師、訪問看護に関心がある看護職の方	Part II 認知症ケア講座	スーディ神崎和代(看護学部教授)	67	1	66
6月19日(土) 10:00-16:00	都市の緑を学ぶエコツアー ー町の緑、田舎の緑をめぐり、美しい風景を描こうー	市民 講座	一般市民の方	街路樹の健康を学び、治療が必要な樹木に取り付けるサインづくり	吉田恵介(デザイン学部教授) ピアンカ・フェルスト(ピアンカハウス主宰) 氏家陵(札幌市立大学非常勤職員)	8	1	7
7月16日(金) 18:30-20:30	道具文化とデザイン	専門 講座	職業デザイナー、デザインを学ぶ学生、デザインに関心がある市民の方	道具文化とデザイン	藤本清春(GKデザイン機構道具文化研究所所長)	34	24	10
9月6日(月) 10:00-16:30	臨床看護師のための指圧マッサージ実践講座	専門 講座	看護職	臨床看護師のための指圧マッサージ実践講座	河内喜久子(治療室シーズ 院長) 大野夏代(看護学部准教授)	16	1	15
9月7日(火) 10:00-16:30		専門 講座	看護職	臨床看護師のための指圧マッサージ実践講座	河内喜久子(治療室シーズ 院長) 大野夏代(看護学部准教授)	9	2	7
10月22日(金) 18:30-20:30	札幌のまちづくりにおける建築の役割と意味	専門 セミナー	まちづくり・建築関係専門家(行政・教育機関・企業関係者)、まちづくりに関心のある一般市民	歴史的にみたまちづくりにおける建築の役割と意味	羽深 久夫(デザイン学部教授)	19	9	10
11月10日(水) 18:30-20:30				建築意匠からみたまちづくりにおける建築の役割と意味	小澤 丈夫(北海道大学大学院工学研究院准教授)	26	18	8
12月17日(金) 18:30-20:30				建築環境からみたまちづくりにおける建築の役割と意味	斉藤 雅也(デザイン学部講師)	17	11	6
1月14日(金) 18:30-20:30				建築計画からみたまちづくりにおける建築の役割と意味	那須 聖(デザイン学部講師)	16	12	4
2月18日(金) 18:30-20:30				建築環境心理からみたまちづくりにおける建築の役割と意味	片山 めぐみ(デザイン学部助教)	24	16	8
11月9日(火) 13:00-15:00	積雪寒冷地の札幌で高齢者を健やかに生きるための知恵袋Ⅱ	市民 セミナー	高齢者とその家族、および関心のある一般市民の方	・高齢者にとっての安全で快適な住居環境 ・環境感覚を活かす建築設計と暮らし	羽山 広文(北海道大学大学院工学研究院教授)	11	7	4
12月7日(火) 13:00-15:00				・積雪寒冷地の住民にとって安全で快適な入浴習慣	坂倉 恵美子(看護学部 教授)	14	9	5
1月12日(水) 13:00-15:00				・安全で快適な入浴環境調査の報告	斉藤 雅也(デザイン学部 講師)			
2月9日(水) 13:00-15:00				・しなやかな重心移動により転倒予防	鈴木 英樹(北のくらしと地域ケア研究所(キタライフ)研究所 代表)	14	9	5
				・高齢期の回想法(老いの復権)	坂倉 恵美子(看護学部 教授)	11	8	3
・日常生活における「回想」実施の意義	森 浩義(エディアワークス ディレクター)							

月 日	講座名	区分※	対象	講座名	講師	受講者数		
						総数	男性	女性
12月2日(木) 18:00-20:00	人をつなぐコミュニケーション ー札幌市立大学における4つの取り組みー	市民 セミナー	「コミュニケーション」 に関心のある一般市民の方	ゲームで考える小グループのコミュニケーション	町田佳世子 (デザイン学部准教授)	18	9	9
12月16日(木) 18:00-20:00				住民参加型まちづくりのコミュニケーション	上田裕文 (デザイン学部助教)			
11月26日(金) 18:30-20:00	世界の創造都市 ー前線からの報告ー	市民 セミナー	市民、企業人、学生 の方など	都市のオープン・イノベーション ー文化経済、食、ウェルネス、 ソーシャルメディア、創造産業	サム・インキネン(フィンランド未来 研究センター・ヴァーサ大学教授) ミッコ・ヴァキバルタ(Brazフアン デーション代表)	38	22	16
2月3日(木) 18:30-20:30				創造都市ベルリンの今	Nina Fischer (札幌市立大学非常勤講師) Maroan El Sani (札幌市立大学非常勤講師)			
2月17日(木) 18:30-20:30				内外の創造都市を展望する	佐々木 雅幸 (大阪市立大学大学院教授)	32	20	12
2月23日(水) 18:30-20:30				芸術文化の経済的意義 ー経済波及効果論を超えてー	片山 泰輔 (静岡文化芸術大学文化政策 学部准教授)	36	25	11
2月28日(月) 18:30-20:30				創造都市さっぽろを展望する	吉田 恵介 (デザイン学部教授) 武邑 光裕 (デザイン学部教授) デーヴィッド・ライト (デザイン学部准教授)	48	32	16
2月3日(木) 13:00-16:00	看護師による口腔ケアの実践	専門 講座	看護師	看護師による口腔ケアの実践	村松真澄 (看護学部講師)	38	4	34
合計(人)						833	370	463

2. 本学共催

月 日	講座名	区分	対象	講座名	講師	受講者数		
						総数	男性	女性
4月8日(木)~ 3月24日(木) 講義45回、実 習24回	さっぽろ緑花園芸学校	市民 セミナー	一般市民	さっぽろ緑花園芸学校 (A・B・Cコース)	財団法人札幌市公園緑化協 会、札幌市 他	2,322	-	-
12月20日(月) 18:30-20:00	デザイン研究科開設 記念講演会	市民 講座	一般市民、 学生の方	情感的生命機械体芸術 ー芸術と工学の融合を語るー	河口洋一郎 (アーティスト、東京大学大 学院教授)	118	56	62
2月7日(月) 18:30-20:00	特別講義	特別 講義	学生、一般市民	鏡を用いたビジュアル・トリック	趙 烈 (韓国漢城大学校芸術大学 メディアコンテンツ学部 教授)	41	-	-
合計(人)						2,481	56	62

※ 講座:1回開催で完結する講座、セミナー:複数回に亘って開催する講座

札幌市立大学大学院デザイン研究科博士後期課程
設置に関するアンケート(在学生対象) 集計結果

平成23年4月実施 アンケート対象者数 回答者数	1年次		2年次		合計	
	人数	割合%	人数	割合%	人数	割合%
	17	-	18	-	35	-
	17	100.0%	17	94.4%	34	97.1%

問1 あなたの性別を伺います。

区分	1年次		2年次		合計	
	人数	割合%	人数	割合%	人数	割合%
1 男性	7	41.2%	9	52.9%	16	47.1%
2 女性	10	58.8%	8	47.1%	18	52.9%
計	17	100.0%	17	100.0%	34	100.0%

問2 あなたの年齢を伺います。

区分	1年次		2年次		合計	
	人数	割合%	人数	割合%	人数	割合%
1 20代	15	88.2%	14	82.4%	29	85.3%
2 30代	1	5.9%	1	5.9%	2	5.9%
3 40代	1	5.9%	1	5.9%	2	5.9%
4 50代以上	0	0.0%	1	5.9%	1	2.9%
計	17	100.0%	17	100.0%	34	100.0%

問3 あなたの職業の有無及び現在の状況について伺います。

区分	1年次		2年次		合計	
	人数	割合%	人数	割合%	人数	割合%
1 職業は有していない	2	11.8%	3	17.6%	5	14.7%
2 職業を有し、働きながら大学院で学んでいる	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
3 職業を有していたが、大学院の入学を機に「休職」している	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
4 職業を有していたが、大学院の入学を機に「退職」した	15	88.2%	13	76.5%	28	82.4%
5 その他	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
6 無回答	0	0.0%	1	5.9%	1	2.9%
計	17	100.0%	17	100.0%	34	100.0%

問4 本研究科では昼夜開講制を実施していますが、主にどの時間帯の授業を履修していますか。

区分	1年次		2年次		合計	
	人数	割合%	人数	割合%	人数	割合%
1 昼間の時間帯	11	64.7%	10	58.8%	21	61.8%
2 夜間の時間帯	0	0.0%	2	11.8%	2	5.9%
3 両方の時間帯	6	35.3%	5	29.4%	11	32.4%
計	17	100.0%	17	100.0%	34	100.0%

問5 本研究科では、長期履修学生制度を実施していますが、あなたは当該制度を利用していますか。

区分	1年次		2年次		合計	
	人数	割合%	人数	割合%	人数	割合%
1 利用している	2	11.8%	1	5.9%	3	8.8%
2 利用していない	15	88.2%	16	94.1%	31	91.2%
計	17	100.0%	17	100.0%	34	100.0%

問6 博士後期課程について興味・関心がありますか。

区 分	1年次		2年次		合計	
	人数	割合%	人数	割合%	人数	割合%
1 とても興味・関心がある	3	17.6%	2	11.8%	5	14.7%
2 興味・関心がある	8	47.1%	6	35.3%	14	41.2%
3 あまり興味・関心はない	6	35.3%	8	47.1%	14	41.2%
4 無回答	0	0.0%	1	5.9%	1	2.9%
計	17	100.0%	17	100.0%	34	100.0%

問7 大学院博士後期課程への進学意向はありますか。

区 分	1年次		2年次		合計	
	人数	割合%	人数	割合%	人数	割合%
1 ぜひ進学したい	1	5.9%	0	0.0%	1	2.9%
2 進学したい	0	0.0%	1	5.9%	1	2.9%
3 条件が整えば進学したい	3	17.6%	4	23.5%	7	20.6%
4 修士課程の修了後に考えたい	6	35.3%	2	11.8%	8	23.5%
5 進学は考えない	5	29.4%	8	47.1%	13	38.2%
6 わからない	2	11.8%	2	11.8%	4	11.8%
計	17	100.0%	17	100.0%	34	100.0%

問8 博士後期課程への進学を希望する理由を伺います(複数回答可)

区 分	1年次		2年次		合計	
	人数	割合%	人数	割合%	人数	割合%
1 博士の学位を取得したい	2	11.8%	5	29.4%	7	20.6%
2 研究者になりたい	1	5.9%	1	5.9%	2	5.9%
3 教育者(大学等の教員)になりたい	4	23.5%	1	5.9%	5	14.7%
4 仕事の能力を高めたい	0	0.0%	2	11.8%	2	5.9%
5 将来の進路の可能性を広げたい	2	11.8%	1	5.9%	3	8.8%
6 業務上、必要なため	1	5.9%	0	0.0%	1	2.9%
7 転職や独立のため	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
8 社会活動に活かすため	0	0.0%	2	11.8%	2	5.9%
9 その他	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%

問9 博士後期課程の進学先を選択する際、何を重視しますか。(複数回答可)

区 分	1年次		2年次		合計	
	人数	割合%	人数	割合%	人数	割合%
1 教育内容	1	5.9%	3	17.6%	4	11.8%
2 実施可能な研究内容	4	23.5%	4	23.5%	8	23.5%
3 指導教員	4	23.5%	3	17.6%	7	20.6%
4 学費・奨学金制度等	2	11.8%	1	5.9%	3	8.8%
5 就職への有利性	1	5.9%	1	5.9%	2	5.9%
6 その他	0	0.0%	1	5.9%	1	2.9%

6 その他の記載

施設の利用条件

問10 本学大学院デザイン研究科では、博士後期課程の設置を検討していますが、設置された場合、進学を希望しますか。

区 分	1年次		2年次		合計	
	人数	割合%	人数	割合%	人数	割合%
1 ぜひ進学したい	1	5.9%	0	0.0%	1	2.9%
2 進学したい	2	11.8%	5	29.4%	7	20.6%
3 他大学大学院へ進学したい	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
4 進学は考えない	2	11.8%	4	23.5%	6	17.6%
5 わからない	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
6 無回答	12	70.6%	8	47.1%	20	58.8%
計	17	100.0%	17	100.0%	34	100.0%

問11 設置を計画している大学院博士後期課程について、ご意見・ご要望等がありましたらお聞かせ下さい。

区 分	
研究活動が活発で、積極的に学会発表を行うような博士課程を期待します。	(2年次)
進学に関しては、まだわからないが、一度社会に出て経験を積んでからの進学を考えている。	(2年次)

札幌市立大学大学院デザイン研究科博士後期課程
設置に関するアンケート(企業等対象)集計結果

平成23年4月実施	事業所数	割合%
アンケート配布数	49	-
回答数	37	75.5%

問1 貴社もしくは貴事業所の業種をお答え下さい。

区分	数	割合%
①製造	6	16.2%
②建設	4	10.8%
③情報	3	8.1%
④サービス	2	5.4%
⑤印刷出版	0	0.0%
⑥放送	0	0.0%
⑦新聞	0	0.0%
⑧通信	1	2.7%
⑨広告	0	0.0%
⑩百貨店・小売	1	2.7%
⑪不動産	0	0.0%
⑫運輸・観光	0	0.0%
⑬商社	0	0.0%
⑭金融・保険・証券	0	0.0%
⑮ガス・電力	0	0.0%
⑯官公庁	0	0.0%
⑰研究機関	8	21.6%
⑱高等教育機関	6	16.2%
⑲その他	6	16.2%
無回答	0	0.0%
計	37	100.0%

⑲その他記載

・デザイン
・文科系財団法人
・シンクタンク
・デザインコンサルタント
・工業デザイン
・デザイン

問2 貴社もしくは貴事業所の従業員数をお答え下さい。

区分	数	割合%
①50人以下	8	21.6%
②51～100人	3	8.1%
③101～200人	6	16.2%
④201～300人	1	2.7%
⑤301～500人	2	5.4%
⑥501人以上	17	45.9%
無回答	0	0.0%
計	37	100.0%

問3 貴社もしくは貴事業所にとって有用と思う人材像をお答え下さい。(複数回答可)

区分	数	割合%
①高度な専門的知識とコミュニケーション能力を有する人	31	28.7%
②リーダーシップを発揮し、組織の業務を的確に遂行できる人	22	20.4%
③独創的・先端的な研究を遂行できる人	19	17.6%
④研究成果を通じて新たな理論や価値を創造し、諸課題への提言ができる人	19	17.6%
⑤高度な教育・研究の成果とその方法論や指導論を教授できる人	10	9.3%
⑥その他	7	6.5%
計	108	100.0%

⑥その他記載例

・社会的苦悩を克服するために能力を進んで捧げようとする人材。
・精神性を保った文明の開拓手法を持った人。
・リーダーシップは必要だが企業内で育成することができる。それよりも高専門性と「学ぶ姿勢」が必要だと考えます。
・理解力、好奇心、気配り
・斬新なデザインを創出する発想力・構成力と論理的思考力を併せ持つ人。
・専門領域や国・地域の壁を越えて意思疎通できるコミュニケーション能力を有する人
・自ら意欲を高め行動できる自立型人材
・国際的に活躍できる人
・専門的知識はそれほど高い必要はなく、吸収力のある人

問4 そのような人材はどういった部署または部門で有用と考えますか。(複数回答可)

区分	数	割合%
①総務・庶務関係	4	4.2%
②人事・労務関係	5	5.2%
③企画関係	27	28.1%
④営業関係	3	3.1%
⑤会計・経理関係	4	4.2%
⑥研究関係	21	21.9%
⑦制作関係	10	10.4%
⑧教育・人材育成関係	11	11.5%
⑨管理部門	7	7.3%
⑩その他	4	4.2%
計	96	100.0%

⑩その他記載

・あらゆる部門で有用
・調査、分析、コンサルティング
・デザイン、企画セクション
・デザイン関係ですが、どの部門でも有用と考えます

問5 なぜそのような部署または部門で有用と考えますか。理由をお答え下さい。(自由記述)

回答	問4の回答
【コミュニケーション力を必要とする例】	
・企画分野では、研究者と同等の能力を持ちながらコミュニケーション(一般の技術者から大学の研究者を含む)が必要だから。	(3,6)
・グローバル市場に向けてオリジナリティのある質の高いデザインの創出や顧客との魅力あるコミュニケーション等が求められている。	(7)
・まちづくり、地域づくりは人とのコミュニケーションから課題を解決していくため	(3)
・コミュニケーション能力が必要とされる部門	(3,7)
・何を行うにも人とのコミュニケーションが一番重要と考えます。	(3,9)

【高度な専門知識、高い専門性を必要とする例】	
・最先端の技術を議論するための専門知識を保有していること。	(3,6,8)
・専門的な知識を保有することにより高度な教育が教授できる。	(3,6,8)
・企画関係は専門的知識を活かして事業の企画運営に携わることができるため。	(1,2,3,5)
・専門的に高度な能力、スキルを持つ人材が大学として必要なため	(6,8)
・日本社会の変節期に当たり、高度な専門性と社会実装を旨とした人材が求められているため	(3,6,8)
・競争力が必要とされる分野で、高度な専門性と共に顧客及び協働メンバーとのコミュニケーション能力が重要であるため	(3,7)
・建築設計のため、高度な知識に立った新しい発想、チャレンジが必要	(3,7)
・客先の信頼を得るためには専門知識に裏付けられた会話が重要なため。	(3,7)
・専門知識、能力を活用できそうだから。	(3,6,7)
【リーダーシップを必要とする例】	
・地域産業界の複雑化・高度化する課題の解決には、デザイン分野の高度な知識や経験を持った人材による創造的なアプローチやリーダーシップ力が不可欠と思われるから。	(3,6)
・組織が有効に機能するためには組織の各部門で専門的かつ高度な知識を持った人やリーダーシップを発揮できる人などが必要	(1,2,3,5,6,9)
・社の企画の実現には強いリーダーシップが必要なため。	(3,7)
・各部署には、総合的判断の下で的確に導くリーダーが必要	(3,6,7,8,9)
・当財団は契約職員やパートを多く雇用していることからリーダーシップを発揮し的確な指示ができる必要があるため。	(1,2,3,5)
【新たな価値創造、イノベーションを必要とする例】	
・競争優位の戦略として製品・サービスの高付加価値が必須であり、改善を超えるイノベーションの発現をリードする人材が不可欠であるため。	(3,4,7)
・独創的な企画を立案してそれを遂行することが組織の存在意義になるから	(3,6)
・新たな価値創造でその部門により成果を残せそうだから	(3,6,7)
・新たな価値を創出する人材が求められるため	(10)
・新しい発想で新市場開拓ができる。	(3,6)
・市場の変化と対応技術、ニーズとシーズを常に分析、常に提言力が維持できる。	(3,6)
・多様化する顧客からの要求品質を見極め、自ら考えて行動する部門	(3,6)
・現代の日本ではイノベーションを起すことが必要だから。	(3,6,8)
【デザイン教育者、研究者等を必要とする例】	
・研究運営を担える人材が不足している。	(3,6,9)
・産学官連携を担える人材が不足している。	(3,6,9)
・現在本研究科にはデザインを専門に教授できる教育者がいないが、今後の日本の製品の市場競争力の確保にとり、デザインはかなり重要である。	(8)
【その他】	
・本当の幸せに人々を導くために人は生きているから。	(2,3,6,8,9)
・商品開発に結びつくから	(3,6)
・個々の研究の高度化、研究組織としての高度化に不可欠であると考えます。	(3,6)
・デザイン系学生が活躍できる場として考えました。他の部門は新卒での採用は難しいと思います。	(6,7)
・ものづくりは人づくり	(全て)
・その部門でそのような人材が必要とされる	(3,6)
・どこの部署においても有用な人材像は共通しており、全ての部署で必要になってくるものと考えます。	(1,2,3,4,5,6,8,9)
・(研究) 大学であるため、院生の教育と研究を並行して行う必要がある。	(6,8)
・コンテクスチュアル・デザイン(総合デザインプロセス) 基本は企画力/コミュニケーション力	(3)
・企業側の業務依頼内容の高度化。コンサルティング業という職種上、より先端的かつ先進的技術や情報が求められる為	(7, 10)
・世界最高レベルの研究の推進が本務であるため。世界レベルの研究、教育を遂行できる人材の育成のため。	(6,8)
・デザインは自分でない他者のために提案する事が多いため	(10)

問6 貴社もしくは貴事業所はそのような人材育成に取り組んでいますか。
また、取り組んでいない場合、その理由もお答え下さい。

区分	数	割合%
①取り組んでいる	31	83.8%
②取り組んでいない	6	16.2%
無回答	0	0.0%
計	37	100.0%

区分	数	割合%
ア 教育者、指導者がいない	4	57.1%
イ 予算的な措置ができない	0	0.0%
ウ 方法がわからない	0	0.0%
エ そのような人材はすでに足りている	0	0.0%
オ その他	3	42.9%
計	7	100.0%

オ その他記載

・評価制度が障壁となっている。
・社内のOJTの範囲を超えた指導が難しいため
・毎年決まって新卒を受け入れる状況でないため

問7 (問6で①を選択した場合のみお答え下さい。)

どのような手法により取り組んでいますか。(複数回答可)

区分	数	割合%
①社(事業所)内に教育者がいる、又は社(事業所)内に研修制度や教育制度がある	23	31.1%
②社(事業所)外の研修、セミナー等に派遣している	17	23.0%
③自己研鑽、自己学習の費用負担等をしている	13	17.6%
④大学等の教育研究機関で学ぶ機会を与えている	10	13.5%
⑤その他	11	14.9%
計	74	100.0%

⑤その他記載

・仕事の中で実施(OJT)
・部門内で研修を企画・実施している
・大学なので人材育成が仕事
・実際の業務を通じても教育されている
・大学とのコラボレーション
・OJT
・1つの方法に拠らず上記①～④を総合的に活用
・OJTを進めている
・世界レベルの研究プロジェクトの実施。国際的な人材交流事業、共同研究の実施
・学会等
・各種プロジェクトの実践を行っている

問8 デザイン学の博士号を取得することのできる大学院博士後期課程について関心がありますか

区分	数	割合%
①とても関心がある	23	62.2%
②少し関心がある	7	18.9%
③どちらでもない	5	13.5%
④あまり関心がない	1	2.7%
⑤全く関心がない	0	0.0%
無回答	1	2.7%
計	37	100.0%

問9 その理由をお答え下さい。(自由記述)

回答	問8の回答
【地元における意味】	
・貴学の人間重視を根幹とする基本理念を受け継ぐ、より専門性の高い優秀な人材が継続的に輩出されることは地域発展の観点から非常に楽しみです。	①
・北海道の産業や文化の振興、地域の活性化を図る上で製品デザインや空間デザイン、情報デザインなどは大きな役割を果たすと思われ、この分野において高い見識、優れたセンスを有する人材を育成することは極めて重要	①
・必要性がありながら北海道に欠けている分野での博士課程であるため	①
・北海道においてそのような課程がないため必要と思います。	①
・学問的な専門知識を踏まえた人材の育成が北海道においても必要である。	①
・積雪寒冷地に特化した建築デザインの専攻科が少ないため	①
・地元の大学での設置は文化都市としてのステイタスを高める。	①
・次世代を見据えた構想が地域を救うから。	①
【デザイン専門家の不足と必要性】	
・地域自治体や関連業界に対する指導者として必要とされる高度な知識を獲得すること	①
・高度な専門性を有する人材も必要なため	②
・デザイナー(建築、その他)として広い知識とスキルをもつ人材を求めているから。	①
・より高度な課題発見・解決能力を体得できる期待	②
・ユーザーインターフェースデザインが以前にまして重要となってきた	②
・デザインを専門とする人材が少ない	①
【新しいデザインの必要性】	
・従来の枠組に捉われない研究領域の魅力を考えると、先進的分野と思います。	①
・社会への情報発信には高いデザイン性(能力)が求められるようになったため。	②
・業務においてもデザインが評価に与える影響が大きくなってきたため。	②
・大量生産の時代は終わり、これからは人間性を大切にする社会的背景。	①
・個を満足させるための個に合うデザインの時代がこれからの時代。	①
・今後は、部分ではなく全体のデザイン(設計・企画)が重要になるから	②
・今後の日本においてはイノベーションデザインが重要になるため	①
・デザインとIT分野の融合は産業界が求めている内容である。	②
【グローバル化に伴う博士の必要性】	
・グローバル化に伴い、各国デザイン交流で信頼性が増す。	①
・WorldWideでの人材育成と発言力、信頼度向上には博士号は必須と考える。	①
【デザイン分野における博士課程の意義】	
・大学院博士後期課程はその分野での研究者育成の宣言であり意味深い。	①
・デザインを学問体系としてとらえ、学位授与規準を定めるということに興味がある。	②
【他大学院との交流等の期待】	
本研究科にはその様な学位を取得できる制度がないが、今後、国内でのダブルディグリープログラムを行う上で相互補完的な分野となりそうなので	①
・専門教授陣との交流を通じてネットワークを広げること	①

【その他の意見】	
・付加価値を大きく左右するデザインの意義を明らかにし、質を高める上で有用と考えられる。	①
・先端の現場において取組みの難しい長期的視点、広い社会的視点でのデザインのあり方を掘り下げられるため。	①
・より広い視点で物事を捉える素養につながるため	①
・博士号の取得を通じて次のようなことに取り組むことができるため①当機関におけるデザイン分野人材が保有する専門知識の整理・体系化や高度化、また地域が抱える今日的課題に対するデザイン研究に取り組むこと	①
・業務上、デザイン工学分野での研究、技術者を有用としている為	①
・機能、外観、両立が好ましい	①
・技術やアイデアがあってもデザイン力がなければ普及しないから。	①
・博士号取得により実社会での積み上げ現場ノウハウを大学の中で学生に教授できる機会が可能となる。	①
・人間空間デザイン、同情報デザインに関係する研究部門があるから。	①
・戦略的デザインの必要/強い、テクノロジー、デザイン、マーケット力	①
・デザインと機能は一对であり、高度なデザイン力は機能にも一役をかうと考える。	①
・日本のさまざまな分野でデザインが重要になるため	①
・デザイナーの地位、特に研究職における地位は未だ低いものである。こうした社会の取組で地位向上を果たしたいと思う。	①
・実践が必要な領域だと思うので	④
・博士課程の教育・学習効果はわかるが博士号取得のメリットがわからない。	③
・デザイン学の博士号がどのように活用できるかわからないため。	③
・企業活動の中で生産性との関係が確立されていない。定義が曖昧	③
・デザイン学のような実務的内容と博士号は必ずしも適合しない。デザイン学博士号を取得することで、どのようなメリットが生じるのか、明確にすべきである。	③

問10 貴社もしくは貴事業所内に、現在デザイン学の博士号を取得することのできる大学院博士後期課程で学修することを希望している社員がいますか。またはいと推測されますか。

区分	数	割合%
①いる(いと推測される)	15	40.5%
②いない(いないと推測される)	6	16.2%
③わからない	15	40.5%
無回答	1	2.7%
計	37	100.0%

問11 大学院博士後期課程にどのような制度、便利な学習環境や配慮等を求めますか。(複数回答可)

区分	数	割合%
①比較的安価な学費	12	8.6%
②立地、周辺環境	10	7.2%
③研究内容が適切	25	18.0%
④教授陣の充実	24	17.3%
⑤昼夜開講制度	15	10.8%
⑥長期履修制度	14	10.1%
⑦授業料等の減免制度	8	5.8%
⑧奨学金制度	7	5.0%
⑨研究指導スケジュールの弾力化	21	15.1%
⑩その他	3	2.2%
計	139	100.0%

⑩その他記載

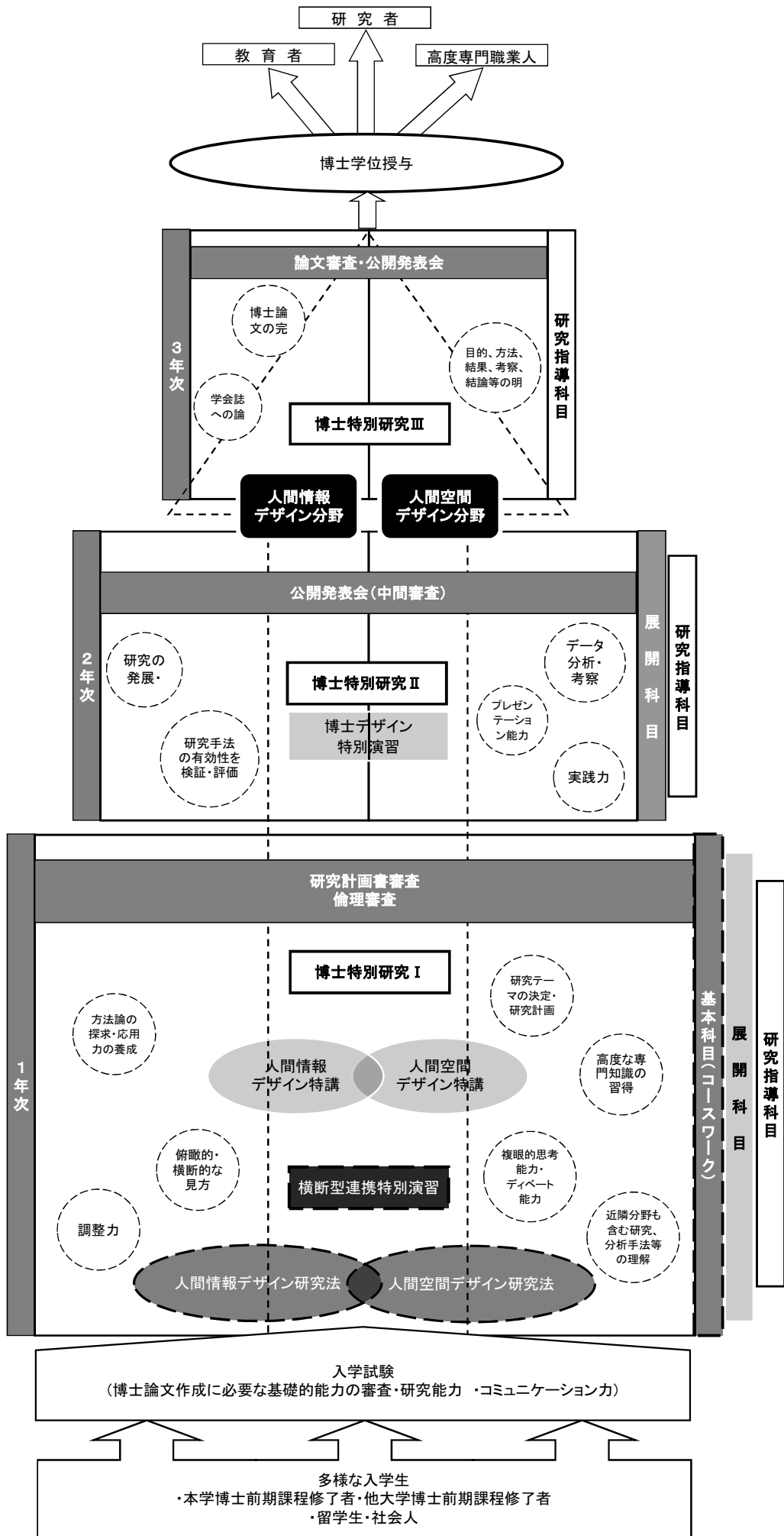
<ul style="list-style-type: none"> ・短期履修制度 ・過去ではなく、現在において研究活動を行っている指導教官の充実が、何より必要であると思われる。地方大学においては、単にマスコミ受けするような研究者ではなく、しっかりした研究のできるスタッフの充実が重要である。 ・地方大学として地域社会への研究内容の還元と実装化の努力は不可避であり、その意味で在学中のインターンシップを、海外も視野に入れて、充実させるべきである。 ・積極的に海外の大学との連携を図り、留学生の交換などを行うべきである。 ・博士取得後の就職先についても、大学として取り組むべきである。例えば、札幌市への専門職としての就職斡旋等。 ・企業との共同プロジェクトを必修として課している ・他大学(工学・情報科学)卒業・修了者が入学できる環境にある ・工学・情報科学を学びながらデザイン学の一部の科目履修が行える
--

問12 貴社もしくは貴事業所ではこれまで大学院博士後期課程修了者(博士の学位取得者)の採用実績がありますか。

区分	数	割合%
①ある	26	70.3%
②検討中	0	0.0%
③ない	9	24.3%
④不明	1	2.7%
無回答	1	2.7%
計	37	100.0%

問13 貴社もしくは貴事業所ではこれまで、社員に博士の学位を取得させる目的で大学院博士課程における学修をさせた実績がありますか。

区分	数	割合%
①ある	18	48.6%
②検討中	1	2.7%
③ない	13	35.1%
④不明	3	8.1%
無回答	2	5.4%
計	37	100.0%



専任教員の年齢構成

デザイン研究科専任教員(全13人)

職名 人数	調書 番号	氏名	生年月日	年齢	備考
教授 10 人	1	原田 昭			
	2	城間 祥之			
	3	石井 雅博			
	4	石崎 友紀			
	5	小西 敏正			
	6	酒井 正幸			
	7	中原 宏			
	8	羽深 久夫			
	9	細谷 多聞			
	10	矢部 和夫			
平均年齢				58.3歳	
2 准 教授 人	11	齊藤 雅也			
	12	那須 聖			
平均年齢					
1 講 人師	13	柿山 浩一郎			
平均年齢					

※年齢は開設時(平成24年4月1日)現在

公立大学法人札幌市立大学教職員就業規則 抜粋

平成18年4月1日

改正 平成22年規則第15号

第3節 任期

(任期)

第10条 教員は、期間を定めて採用する。

2 前項に規定する教員の任期は、5年とする。ただし、再任を妨げない。

(再任の上限)

第11条 前条第2項ただし書の規定にかかわらず、教員のうち、次の各号のいずれかに該当する者には、再任回数に上限を設けるものとする。

- (1) 講師
- (2) デザイン学部に勤務する助教及び助手
- (3) 看護学部に勤務する助教及び助手

2 前項に定める再任回数の上限は、次のとおりとする。

- (1) 前項第1号及び第3号に掲げる教員 2回
- (2) 前項第2号に掲げる教員 1回

第6節 退職及び解雇

(退職)

第22条 教職員は、次の各号のいずれかに該当する場合は、退職し、教職員の身分を失うものとする。

- (1) 任期が満了し、再任されない場合
- (2) 自己都合により退職を届け出て理事長から承認された場合
- (3) 定年に達した場合
- (4) 退職に係る勸奨に応じた場合
- (5) 期間を定めて雇用されているときは、その期間が満了した場合
- (6) 休職期間が満了した後も、休職事由がなお消滅しない場合
- (7) 死亡した場合

2 前項各号に掲げる場合のほか、教職員が行方不明になって30日を経過し

たとき（第17条第1項第9号に掲げる場合を除く。）は、退職したものとみなす。

- 3 第1項各号に掲げる事由に該当した場合は、その事由が発生し、退職することとなる日（以下「退職の日」という。）の翌日から教職員としての身分を失う。ただし、理事長は、第1項第1号及び第3号に該当した場合には、退職の日を事由の発生した日の属する年度の末日とすることができる。

（定年）

第24条 教員の定年は満65歳とし、職員の定年は満60歳とする。

（特例による定年の延長）

第25条 理事長は、定年に達した教職員のうち特別な業務に就いていた者について、その退職により業務の運営に重大な支障が生じると認める場合には、1年を超えない範囲で退職の日を延長することができる。

- 2 前項の規定による退職の日の延長は、当初の退職の日から3年を超えない範囲で更新することができる。

附 則

（施行期日）

- 1 この規則は、平成18年4月1日から施行する。
（開学時採用教員の定年の特例）
- 2 第22条の規定にかかわらず、平成26年3月31日までの間に定年に達した教員の退職の日は、その最初の任期が満了する日とする。

附 則（平成22年規則第15号）

（施行期日）

- 1 この規則は、平成22年6月30日から施行する。

公立大学法人札幌市立大学特任教員に関する規程

平成22年3月24日

平成22年規程第6号

(趣旨)

第1条 公立大学法人札幌市立大学（以下「本学」という。）の教育研究を推進するため、本学の常勤の教員以外の者で、本学の教育研究について特段の協力を行う者として、特任教員を置く。

(資格)

第2条 特任教員に任命することができる者は、次に掲げる者とする。

- (1) 本学を定年等により退職した教員で、優れた教育又は研究の実績を有する者
- (2) 専門分野において高度な教育又は研究の能力を有する者又は実務において優れた知識及び経験を有する者
- (3) 他の教育機関等を定年等により退職した者で、優れた教育又は研究の実績を有する者
- (4) 本学との共同研究等において教育又は研究指導に従事させる者
- (5) 前各号に掲げる者のほか、本学の教育研究上の必要から、理事長が特に認める者

(雇用期間)

第3条 特任教員の雇用期間は、1年以内とする。ただし、特に必要がある場合は、当初の雇用の日から5年を超えない範囲内で更新することができる。

(選考等)

第4条 特任教員の選考及び任命は、原則として、常勤の教員の選考及び任命に準じるものとする。

(勤務条件等)

第5条 特任教員の給与その他の勤務条件については、公立大学法人札幌市立大学非常勤職員等就業規則（平成18年規則第18号）第2条第3号に定める非常勤職員の例による。

(裁量労働制の適用)

第6条 前条によらず、特任教員には裁量労働制を適用することができる。

2 裁量労働制に関し必要な事項については、別に定める。

(称号授与)

第7条 特任教員であって本学の教授、准教授又は講師の選考基準に適合する者に対しては、特任教授、特任准教授又は特任講師の称号を授与することができる。

付 則

この規程は、平成22年3月25日から施行する。

人間空間デザイン分野の履修モデル例① 〔研究テーマ例：より豊かな都市空間や住空間の創造について考究する〕

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位	履修時期			学生の動き・教育研究の目標等
				1年次	2年次	3年次	
基本科目	横断型連携特別演習	1通	2	→			<ul style="list-style-type: none"> 研究に対する複眼的思考能力、社会を俯瞰する広い視野の涵養 建築史、都市計画研究法、自然環境調査法等の手法を修得
	人間空間デザイン研究法	1前	2	→			
	人間情報デザイン研究法	1前					
	小計（2科目履修）	—	4				
展開科目	人間空間デザイン特講	1後	2	→			<ul style="list-style-type: none"> 建築史、建築設計・意匠、都市計画、建築環境等についての知識修得 建築史、建築設計、建築意匠等の理論を実践的に展開
	人間情報デザイン特講	1後					
	博士デザイン特別演習	2前	2		→		
	小計（2科目履修）	—	4				
研究指導科目	博士特別研究Ⅰ	1通	2	→			<ul style="list-style-type: none"> 建築系指導教員の決定 研究テーマの検討・決定 研究計画審査会、倫理審査会での審査 研究テーマの遂行 学会誌等への論文投稿 公開発表会(中間発表会)での発表 博士論文の作成・取りまとめ 博士論文審査(本審査)・最終試験等 博士学位授与
	博士特別研究Ⅱ	2通	2		→		
	博士特別研究Ⅲ	3通	4			→	
	小計（3科目履修）	—	8				
合計（7科目履修）		—	16				

人間空間デザイン分野の履修モデル例② 〔研究テーマ例：都市と自然との調和による地域環境保全について考究する〕

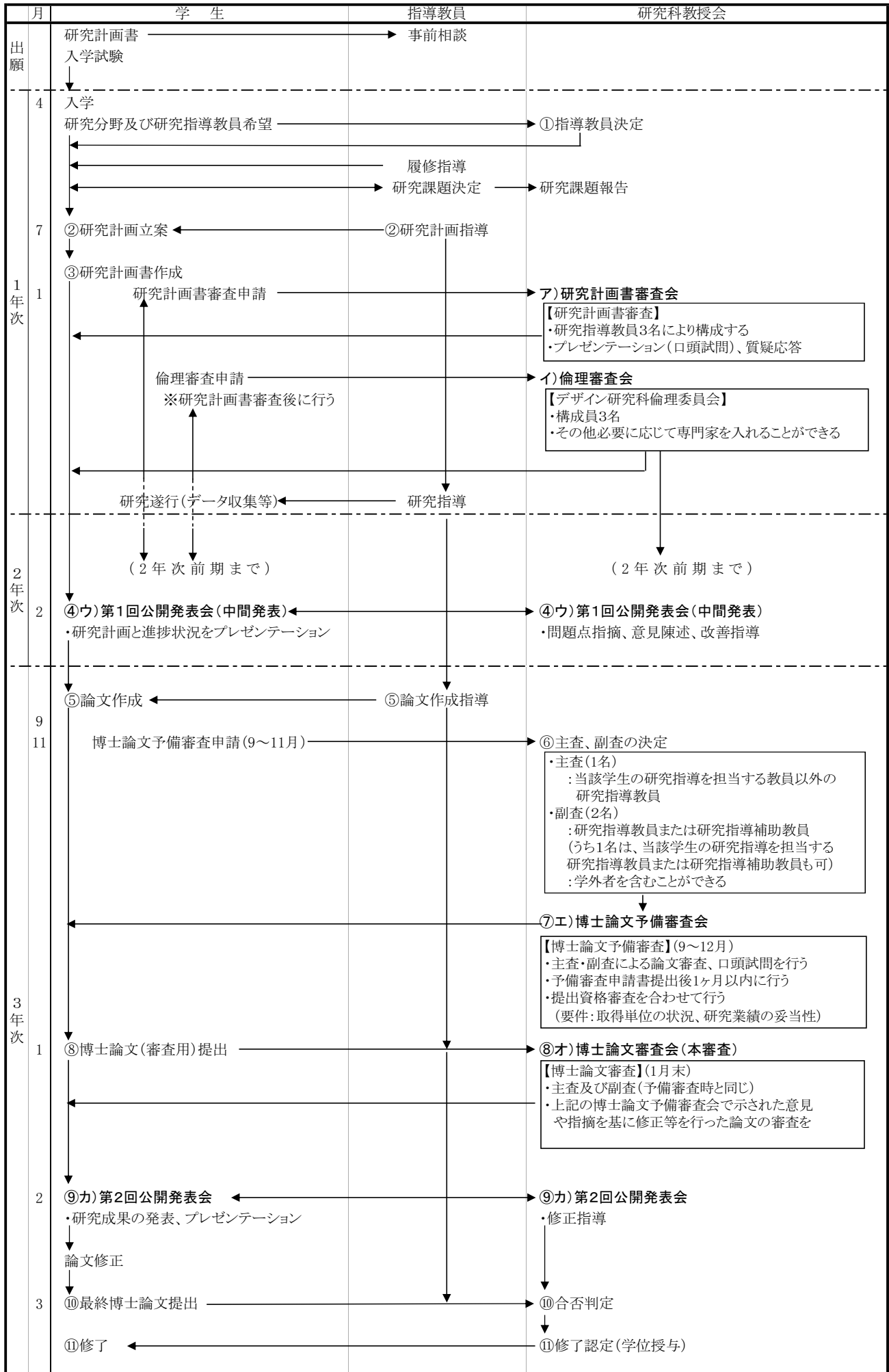
科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位	履修時期			学生の動き・教育研究の目標等
				1年次	2年次	3年次	
基本科目	横断型連携特別演習	1通	2	→			<ul style="list-style-type: none"> 研究に対する複眼的思考能力、社会を俯瞰する広い視野の涵養 建築史研究、都市計画研究法、自然環境調査法等の手法を修得
	人間空間デザイン研究法	1前	2	→			
	人間情報デザイン研究法	1前					
	小計（2科目履修）	—	4				
展開科目	人間空間デザイン特講	1後	2	→			<ul style="list-style-type: none"> 建築史、建築設計・意匠、都市計画、建築環境等についての知識修得 都市計画、自然環境、応用生態工学等の理論を実践的に展開
	人間情報デザイン特講	1後					
	博士デザイン特別演習	2前	2		→		
	小計（2科目履修）	—	4				
研究指導科目	博士特別研究Ⅰ	1通	2	→			<ul style="list-style-type: none"> 都市計画系・環境系指導教員の決定 研究テーマの検討・決定 研究計画審査会、倫理審査会での審査 研究テーマの遂行 学会誌等への論文投稿 公開発表会(中間発表会)での発表 博士論文の作成・取りまとめ 博士論文審査(本審査)・最終試験等 博士学位授与
	博士特別研究Ⅱ	2通	2		→		
	博士特別研究Ⅲ	3通	4			→	
	小計（3科目履修）	—	8				
合計（7科目履修）		—	16				

人間情報デザイン分野の履修モデル例①
〔研究テーマ例：感性評価を活かしたプロダクトデザインを考究する〕

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位	履修時期			学生の動き・教育研究の目標等
				1年次	2年次	3年次	
基本科目	横断型連携特別演習	1通	2	→			<ul style="list-style-type: none"> ・研究に対する複眼的思考能力、社会を俯瞰する広い視野の涵養 ・感性評価、形状情報設計、視覚認知特性等を通じた研究手法を修得
	人間空間デザイン研究法	1前					
	人間情報デザイン研究法	1前	2	→			
	小計（2科目履修）	—	4				
展開科目	人間空間デザイン特講	1後					<ul style="list-style-type: none"> ・人間工学、感性評価、感性インタラクション、形状情報設計、視覚認知等についての理論修得 ・感性評価、感性情報学、ヒューマンインタフェースの理論を実践的に展開
	人間情報デザイン特講	1後	2	→			
	博士デザイン特別演習	2前	2		→		
	小計（2科目履修）	—	4				
研究指導科目	博士特別研究Ⅰ	1通	2	→			<ul style="list-style-type: none"> ・感性デザイン系指導教員の決定 ・研究テーマの検討・決定 ・研究計画審査会、倫理審査会での審査 ・研究テーマの遂行 ・学会誌等への論文投稿 ・公開発表会(中間発表会)での発表 ・博士論文の作成・取りまとめ ・博士論文審査(本審査)・最終試験等 ・博士学位授与
	博士特別研究Ⅱ	2通	2		→		
	博士特別研究Ⅲ	3通	4			→	
	小計（3科目履修）	—	8				
合計（7科目履修）		—	16				

人間情報デザイン分野の履修モデル例②
〔研究テーマ例：ヒューマンインタフェースとユーザビリティを考究する〕

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位	履修時期			学生の動き・教育研究の目標等
				1年次	2年次	3年次	
基本科目	横断型連携特別演習	1通	2	→			<ul style="list-style-type: none"> ・研究に対する複眼的思考能力、社会を俯瞰する広い視野の涵養 ・感性評価、形状情報設計、視覚認知特性等を通じた研究手法を修得
	人間空間デザイン研究法	1前					
	人間情報デザイン研究法	1前	2	→			
	小計（2科目履修）	—	4				
展開科目	人間空間デザイン特講	1後					<ul style="list-style-type: none"> ・人間工学、感性評価、感性インタラクション、形状情報設計、視覚認知等についての理論修得 ・CAD、形状モデリング、ユーザインタフェース等の理論を実践的に展開
	人間情報デザイン特講	1後	2	→			
	博士デザイン特別演習	2前	2		→		
	小計（2科目履修）	—	4				
研究指導科目	博士特別研究Ⅰ	1通	2	→			<ul style="list-style-type: none"> ・工学・情報系指導教員の決定 ・研究テーマの検討・決定 ・研究計画審査会、倫理審査会での審査 ・研究テーマの遂行 ・学会誌等への論文投稿 ・公開発表会(中間発表会)での発表 ・博士論文の作成・取りまとめ ・博士論文審査(本審査)・最終試験等 ・博士学位授与
	博士特別研究Ⅱ	2通	2		→		
	博士特別研究Ⅲ	3通	4			→	
	小計（3科目履修）	—	8				
合計（7科目履修）		—	16				



公立大学法人札幌市立大学研究倫理規程

平成18年9月6日

平成18年規程第58号

改正 平成20年規程第9号

前 文

大学の重要な役割は、世界人類の選択すべき未来に作用する世界的共通認識を構築することと同時に、地域社会においても都市や市民社会の未来を創造するさまざまな基盤形成に貢献することである。社会が今、大学に期待しているのは、諸学問領域からの散発的な成果ではなく、学問領域を超えて人類共通の諸問題と対峙し、過去の歴史を参照しながら「人間」を機軸にして知識それ自体を再編することである。

さらに、大学の未来は、まず市民と共にあり、市民の健康と安全を保全する都市の将来像と緊密に重なり合う。時代の変化に対処する弾力的な実行計画は、固定化した研究・教育モデルの確立を目的化するのではなく、常に創造性という柔軟なモジュールを大学に組み込むことによって実現される。

「創造性」と「倫理」とは、相反するものでなく、相互の意図をともに意識する人材を連携し、組織化するための言葉であり、場である。すなわち、個人的な知識の発露を前提とした従前の学術研究の枠組みを超え、専門化した領域を超えて広く意見を交換し、次世紀の大学をリードするための研究倫理を形成することが必要である。

21世紀に誕生した新たな公立大学の使命とは何か、その答えを自ら「創造」することが、札幌市立大学の使命であるとも言える。我々は、自由な創造的研究と共に、それに伴う倫理的責任の規範を強く自覚するため、ここに公立大学法人札幌市立大学研究倫理規程を制定する。

(目的)

第1条 この規程は、公立大学法人札幌市立大学（以下、「本学」という。）における学術研究の信頼性と公正性を確保することを目的とし、研究を遂行する上で求められる研究者の倫理的行動・態度について定める。

(定義)

第2条 この規程において「研究者」とは、法人の専任教員その他法人において研究活動に従事する者をいう。なお、学生であっても、研究に関わるときは「研究者」に準じて取り扱うものとする。

2 この規程において「研究」とは、研究計画の立案、計画の実施及び成果の公表・評価にいたるすべての過程における行為、決定及びそれらに付随するすべての事項をいう。

3 この規程において「発表」とは、自己の研究に係る新たな知見・発見又は専門的知見を公表するすべての行為をいう。

4 この規程において「共同研究者」とは、研究の代表者となる研究者と共同し研究活動に従事する研究者をいう。

5 この規程において「研究対象者」とは、研究を遂行するに当たって、当該研究の調査対象者となる者をいう。

6 この規程において「研究支援者」とは、研究を遂行するに当たって、様々な形で当該研究を支援する者をいう。

(研究の基本)

第3条 研究者は、良心と信念に従って、自らの責任で研究を遂行し、不当な圧力により研究成果の客観性を歪めることがあってはならない。

2 研究者は、研究の遂行において常に生命の尊厳及び個人の尊厳を重んじ、基本的人権を尊重しなければならない。

3 研究者は、国際的に認められた規範、規約及び条約等、国内の法令、告示等及び法人の規程を遵守しなければならない。

(研究者の態度)

第4条 研究者は、自己の専門研究が及ぶ範囲を自覚し、他分野の専門研究を尊重するとともに、自己研鑽に努めなければならない。

2 研究者は、他の国、地域、組織等の研究活動における、文化、慣習及び規律の理解に努めなければならない。

3 研究者は、共同研究者が対等なパートナーであることを理解し、お互いの学問的立場を尊重しなければならない。研究対象者、研究支援者等に対して

は、謝意をもって接しなければならない。

4 研究者は、学生が共に研究活動に関わる時は、学生が不利益を蒙らないよう十分な配慮をしなければならない。

5 研究者は、自己の研究計画について、分かりやすく、明瞭に説明できるように努めなければならない。

6 研究者は、研究遂行中において、計画進捗状況の自己点検を行い、適切な時期に途中経過の報告ができるよう努めなければならない。

(研究のための情報・データ等の収集)

第5条 研究者は、科学的かつ一般的に妥当な方法及び手段で、研究のための資料、情報、データ等を収集しなければならない。

2 研究者が、研究のために資料、情報、データ等を収集する場合は、その目的に適う必要な範囲を逸脱して収集してはならない。

(インフォームド・コンセント)

第6条 研究者が、人の行動、環境、心身等に関する個人の情報、データ等の提供を受け、研究を行う場合は、提供者に対してその目的、収集方法等について分かり易く説明し、提供者の明確な同意を得なければならない。組織、団体等から、当該組織、団体等に関する資料、情報、データ等の提供を受ける場合も同様とする。

(個人情報の保護)

第7条 研究者は、研究のために収集した資料、情報、データ等の取扱いについては、札幌市個人情報保護条例（平成16年札幌市条例第35号）その他法人に適用される個人情報保護に係る規程を遵守しなければならない。

2 研究者は、研究のために収集した資料、情報、データ等において、個人が特定できないように処理し、厳重に管理する。また、個人を特定できる内容については、これを他に洩らしてはならない。

(情報・データ等の利用及び管理)

第8条 研究者は、研究のために収集し、又は生成した資料、情報、データ等の滅失、漏洩、改ざん等を防ぐために適切な措置を講じなければならない。

2 研究者は、研究のために収集し、又は生成した資料、情報、データ等を合理的期間保存しなければならない。ただし、法令又は法人の規程に保存期間

の定めのある場合はそれに従うものとする。

(機器、薬品・材料等の安全管理)

第9条 研究者が、研究実験において研究装置・機器等及び薬品・材料等を用いるときは、関係する法人の規程、要領等を遵守し、その安全管理に努めなければならない。

2 研究者は、研究の過程で生じた残さ物、使用済みの薬品・材料等について、責任をもって廃棄処理をしなければならない。

(研究の成果の発表)

第10条 研究者は、研究の成果を広く社会に還元するため、当該研究の成果を発表しなければならない。ただし、知的財産権等の取得及びその他合理的理由のため発表に制約のある場合は、その合理的期間内において発表しないものとするができる。

2 研究の成果は、学問的誠実性と論理的忠実性によって導かれた、新たな知見・発見であることに鑑み、研究者は、他者の成果を自己の成果として発表してはならない。

3 研究者は、研究の成果の発表に際しては、先行研究を精査し、尊重するとともに、他者の知的財産を侵害してはならない。

4 研究の成果の発表における不正な行為は、大学及び研究者に対する社会の信頼性を喪失する行為であることを研究者は自覚し、次に掲げる不正な行為は、絶対にこれをしてはならない。

(1) ねつ造 (存在しないデータの作成をいう。)

(2) 改ざん (データの変造又は偽造をいう。)

(3) 盗用 (他人のデータや研究の成果等を適切な引用なしで使用することをいう。)

5 研究の発表における不適切な引用、引用の不備、誇大な表現、都合のよい誤解をさせる表現等は、不正行為とみなされるおそれがあり、研究者は、適切な引用、誤解のない完全な引用及び真摯な表現をしなければならない。

(論文著者の条件)

第11条 次に掲げる事項のいずれも満たす研究者に対しては、研究の成果の発表を行う際にその研究に係る論文の著者としての適切な権利及び義務 (以

下「オーサーシップ」という。)を認める。

- (1) 研究の着想、研究成果の分析、論文の執筆等いずれかの研究過程において主体的に携わっていること。
- (2) 自分が担当した部分について責任をもって説明ができること。
- (3) 共同研究者がそのオーサーシップに同意していること。

(研究費の取扱い)

第12条 研究者は、研究費の源泉が、学生納付金、札幌市からの運営費交付金、国・地方公共団体等からの補助金、財団法人等からの助成金、寄付金等によって賄われていることに常に留意し、研究費の適正な使用に努め、その負託にこたえなければならない。

2 研究者は、交付された研究費を当該研究に必要な経費のみに使用しなければならない。

3 研究者は、研究費の使用に当たっては、関係する法令及び法人の規程等を遵守しなければならない。

4 研究者は、証ひょう書類等を適切に管理し、実績報告においては、研究遂行の真実を明瞭に記載しなければならない。

(他者の業績評価)

第13条 研究者が、レフリー、論文査読、審査委員等の委嘱を受けて、他者の研究業績の評価に関わるときは、被評価者に対して予断を持つことなく、評価基準、審査要綱等に従い、自己の信念に基づき評価しなければならない。

2 研究者は、他者の業績評価に関わり知り得た情報を不正に利用してはならない。当該業績に関する秘密は、これを保持しなければならない。

(研究倫理審査委員会)

第14条 この規程の運用を実効あるものにするため、及びこの規程の目的とする研究を推進するために、公立大学法人札幌市立大学倫理委員会を設置する。

2 前項に規定する委員会に関し必要な事項は別に定める。

(事務)

第15条 この規程に関する事務は、経営企画課が所管する。

附 則

(施行期日および適用)

- 1 この規程は、平成18年9月6日から施行する。
- 2 この規程は、平成18年4月1日以降に開始された研究について適用する。

附 則

(施行期日および適用)

- 1 この規程は、平成20年11月5日から施行する。

公立大学法人札幌市立大学倫理委員会規程

平成19年3月27日

平成19年規程第4号

改正 平成20年規程第8号

改正 平成22年規程第13号

(趣旨)

第1条 この規程は、札幌市立大学学則第16条第2項の規定に基づき、公立大学法人札幌市立大学（以下「法人」という。）において研究者及び共同研究者（以下「研究者等」という。）が法人内外で行う、人を対象とし、又は人体より採取した材料を用いる研究その他の倫理的な配慮の必要な研究について、「ヘルシンキ宣言」（1964年世界医師会）等の主旨に沿い、特に臨床研究については「臨床研究に関する倫理指針」（2003年厚生労働省）、疫学研究については「疫学研究に関する倫理指針」（2002年文部科学省・厚生労働省）及び看護研究については「看護研究における倫理指針」（2004年社団法人日本看護協会）に基づいて、倫理的妥当性についての審査を適正かつ円滑に実施するために設置する公立大学法人札幌市立大学倫理委員会（以下「委員会」という。）の組織及び運営に関し必要な事項を定めるものとする。

(設置)

第2条 法人に、研究倫理規程第14条1項に基づき、研究倫理に関する重要事項を審議するため、委員会を置く。

(審議事項)

第3条 委員会は、第1条に規定する研究を対象として、研究倫理審査申請書（以下「申請書」という。）に基づき倫理的妥当性の審査（以下「審査」という。）を行う他、研究倫理に関する事項その他理事長が付託した事項を審議する。

(委員会の責務)

第4条 委員会は、審査を行うに当たっては、特に、次に掲げる点に留意しなければならない。

(1) 研究の対象となる個人の人権擁護への対応

(2) 研究の対象となる個人に理解を求め研究協力の同意を得る方法

(3) 研究によって生ずる危険と不快に対する配慮

(4) その他倫理的配慮が必要な生物などへの配慮

2 委員会は、法人における研究に係る倫理的事項について、研究者へ必要な事項を周知し、報告し、並びに共通認識及び理解を深める役割を担う。

(組織)

第5条 委員会は、次に掲げる委員をもって組織する。

(1) デザイン学部長又はデザイン学部長がデザイン研究科長と協議の上指名する者

(2) 看護学部長又は看護学部長が看護学研究科長と協議の上指名する者

(3) 事務局長又は事務局長が指名する者

(4) その他理事長が指名する者

2 委員は、理事長が任命する。

(任期)

第6条 前条第1項第1号のデザイン学部長がデザイン研究科長と協議の上指名する者、同項第2号の看護学部長が看護学研究科長と協議の上指名する者及び同項第3号の事務局長が指名する者並びに同項第4号の委員に係る任期は2年とし、再任を妨げない。ただし、欠員が生じた場合における後任者の任期は、前任者の残任期間とする。

(委員長及び副委員長)

第7条 委員会に委員長及びデザイン学部ならびに看護学部から各1名の副委員長を置き、委員の互選により選任する。

2 委員長は、委員会を代表し、会務を統括する。

3 副委員長は、委員長の職務を補佐する。

4 委員長に事故があるときは、副委員長がその職務を代行する。

(定足数)

第8条 委員会は、委員長が必要に応じて招集し、学部の異なる委員1人を含む過半数の委員の出席がなければ、合意又は議決をすることはできない。

(議事)

第9条 議事は、出席した委員の過半数をもって決し、可否同数のときは、委員長が決定する。審査の判定は、出席委員の合意によるものとする。ただし、

委員長が必要と認める場合は、議決をもって判定することができる。

- 2 審査対象となっている研究の研究者等は、審査の場から退席しなければならない。
- 3 判定は、次に掲げる表示による。
 - (1) 非該当
 - (2) 承認
 - (3) 条件付承認
 - (4) 変更の勧告
 - (5) 不承認
- 4 委員会が軽易な事項に該当すると判断した申請の審査は、迅速な審査を行うことができる。
- 5 審査の経過及び判定は、記録として保存するとともに、承認された研究の課題名及び研究代表者名は、必要に応じて公開されなければならない。

(委員以外の者の出席)

第10条 委員長は、必要があると認めるときは、委員以外の者を委員会に出席させ、説明又は意見を求めることができる。ただし、当該委員以外の者は、議決に加わる権利を有しない。

(申請手続、判定の通知及び報告)

第11条 審査を申請しようとする研究者等は、申請書に必要事項を記入し、必要な資料を添えて、委員会に提出しなければならない。委員長は、委員会において当該申請に対する審査を行うために、速やかに委員会を招集しなければならない。

- 2 申請をした研究者は、委員会の求めがあった場合には、委員会に出席し、申請書の内容を説明しなければならない。
- 3 委員会は、申請書の受理後1月以内に審査の結果を申請者に通知書をもって通知するとともに、その結果を理事長に報告しなければならない。
- 4 前項の規定による通知をするに当たって、審査の判定が、第9条第3項第3号から第5号に該当する場合には、当該通知に係る通知書に条件を付し、変更を勧告し、又は不承認とした理由を記載しなければならない。
- 5 第9条第3項第3号から第5号までに掲げる判定を受けた申請者は、書面をもって委員会に不服申立てをすることができる。

6 委員会は、前項の不服申立てについて速やかに審議し、申請者にその結果を通知しなければならない。この場合において、委員会は、不服申立てがあった旨及びその審議結果を理事長に報告しなければならない。

(専門部会)

第12条 委員会に、必要に応じて専門部会を置くことができる。

2 専門部会は、第3条に規定する審議事項に関し専門的な調査及び審議を行う。

3 専門部会の委員は、委員長が任命する。

4 委員長は、必要があると認めるときは、第5条第1項各号に掲げる委員以外の者を専門部会の委員として任命することができる。

5 委員は、複数の専門部会の委員を兼ねることができる。

6 専門部会に部会長を置き、委員長の指名する者をもって充てる。

7 部会長は、専門部会において調査及び審議した事項を委員会に報告するものとする。

8 前各項に定めるもののほか、専門部会の組織及び運営に関し必要な事項は、委員会が定める。

(委員の守秘義務)

第13条 委員会の委員は、審査等を行う上で知り得た個人及び研究計画等に関する情報を法令に基づく場合など正当な理由なしに漏らしてはならない。委員を退いた後も同様とする。

(議事録の作成)

第14条 委員長は、議事録を作成しなければならない。

(事務局)

第15条 委員会事務局（以下「事務局」という。）を、経営企画課に置く。

2 事務局は、委員会に係る庶務を行う。

3 事務職員は、審査等に係る庶務を行う上で知り得た個人及び申請書に関する情報を法令に基づく場合など正当な理由なしに漏らしてはならない。事務職員を退いた後も同様とする。

(委任)

第16条 この規程に定めるもののほか、委員会の組織及び運営に関し必要な事項は、委員会が定める。

附 則

(施行期日)

- 1 この規程は、平成19年4月1日（以下「施行日」という。）から施行する。
（委員の任期に関する特例）
- 2 施行日以後、平成22年3月31日までの間、委員に係る任期は、第6条本文の規定にかかわらず、2年の範囲内で理事長が別に定める。
（委員長を選任に関する特例）
- 3 施行日以後、平成22年3月31日までの間、委員長については、第7条第1項の規定にかかわらず、委員のうちから理事長の指名する者をもって充てることができるものとする。

附 則

(施行期日)

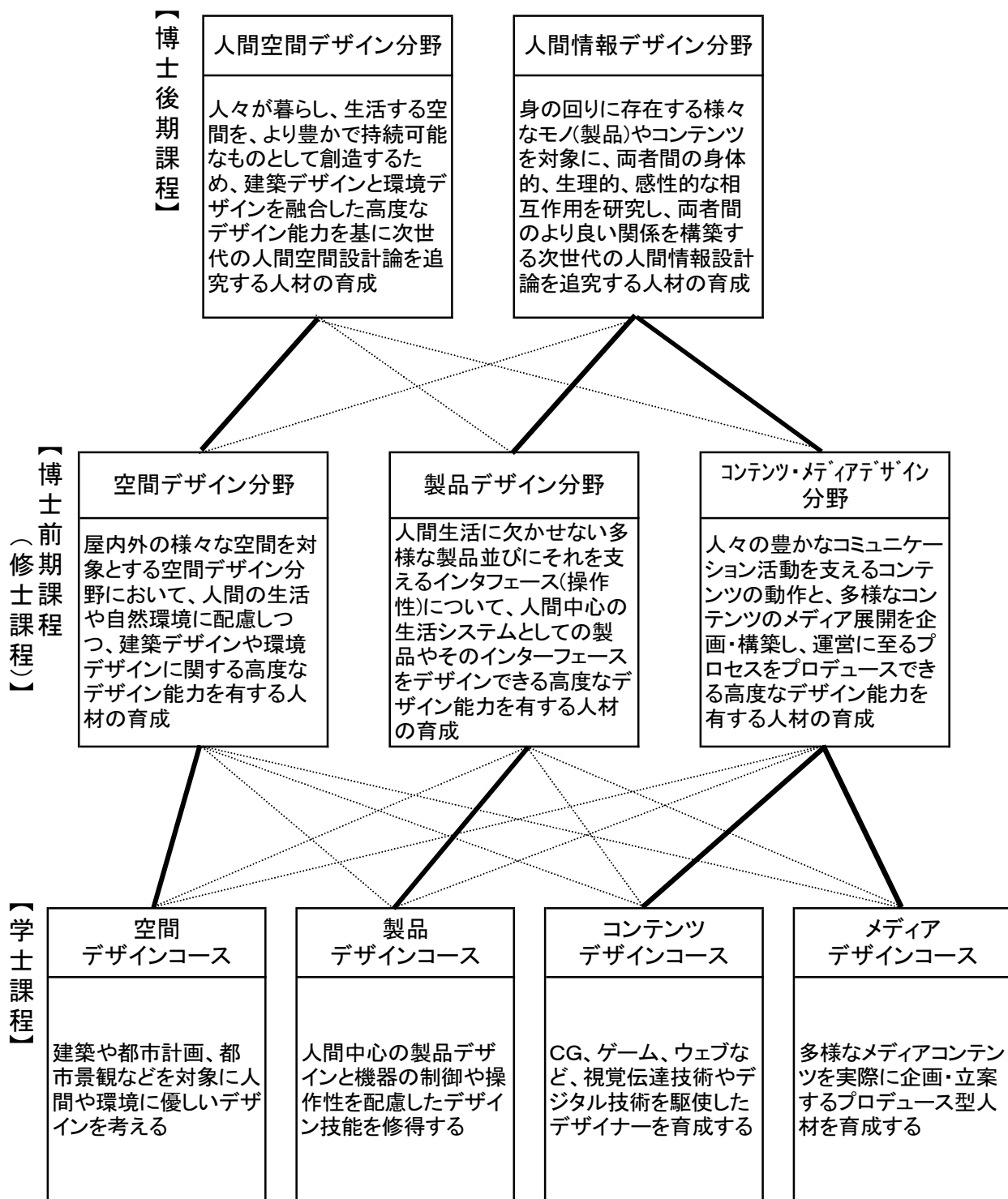
- 1 この規程は、平成20年11月5日から施行する。

附 則（平成22年改正規程第13号）

(施行期日)

- 1 この規程は、平成22年4月1日（以下「施行日」という。）から施行する。
（委員の任期に関する特例）
- 2 第4条第2項の規定により施行日以後、平成24年3月31日までの間、委員に係る任期は、第5条本文の規定にかかわらず、2年の範囲内で理事長が別に定める。
（委員長を選任に関する特例）
- 3 施行日以後、平成24年3月31日までの間、委員会に係る委員長については、第6条第1項の規定にかかわらず、委員のうちから理事長の指名する者をもって充てることができる。

デザイン学部とデザイン研究科の関連図



デザイン研究科博士後期課程 時間割 (1年)

時限	時間	月曜日		火曜日		水曜日		木曜日		金曜日		土曜日	
		前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
1	9:00 ~ 10:30												
2	10:40 ~ 12:10												
3	13:10 ~ 14:40												
4	14:50 ~ 16:20	人間空間 デザイン 研究法	人間空間 デザイン 特講	横断型連携 特別演習									
5	16:30 ~ 18:00	人間情報 デザイン 研究法	人間情報 デザイン 特講										
6	18:10 ~ 19:40	人間空間 デザイン 研究法	人間空間 デザイン 特講	横断型連携 特別演習									
7	19:50 ~ 21:20	人間情報 デザイン 研究法	人間情報 デザイン 特講										

※ 博士特別研究Ⅰは、教員と学生が協議の上で授業時間帯を設定する。

※ 6~7時限目は、昼夜履修学生制度を利用する学生を対象として設定する。

デザイン研究科博士後期課程 時間割 (2年)

時 限	時間	月曜日		火曜日		水曜日		木曜日		金曜日		土曜日	
		前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
1	9:00 ~ 10:30												
2	10:40 ~ 12:10												
3	13:10 ~ 14:40												
4	14:50 ~ 16:20				博士デ ザ イン 特別演 習								
5	16:30 ~ 18:00												
6	18:10 ~ 19:40				博士デ ザ イン 特別演 習								
7	19:50 ~ 21:20												

※ 博士特別研究 I は、教員と学生が協議の上で授業時間帯を設定する。

※ 6~7時限目は、昼夜履修学生制度を利用する学生を対象として設定する。

デザイン研究科博士後期課程 時間割 (3年)

時 限	時 間	月曜日		火曜日		水曜日		木曜日		金曜日		土曜日	
		前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
1	9:00 ~ 10:30												
2	10:40 ~ 12:10												
3	13:10 ~ 14:40												
4	14:50 ~ 16:20												
5	16:30 ~ 18:00												
6	18:10 ~ 19:40												
7	19:50 ~ 21:20												

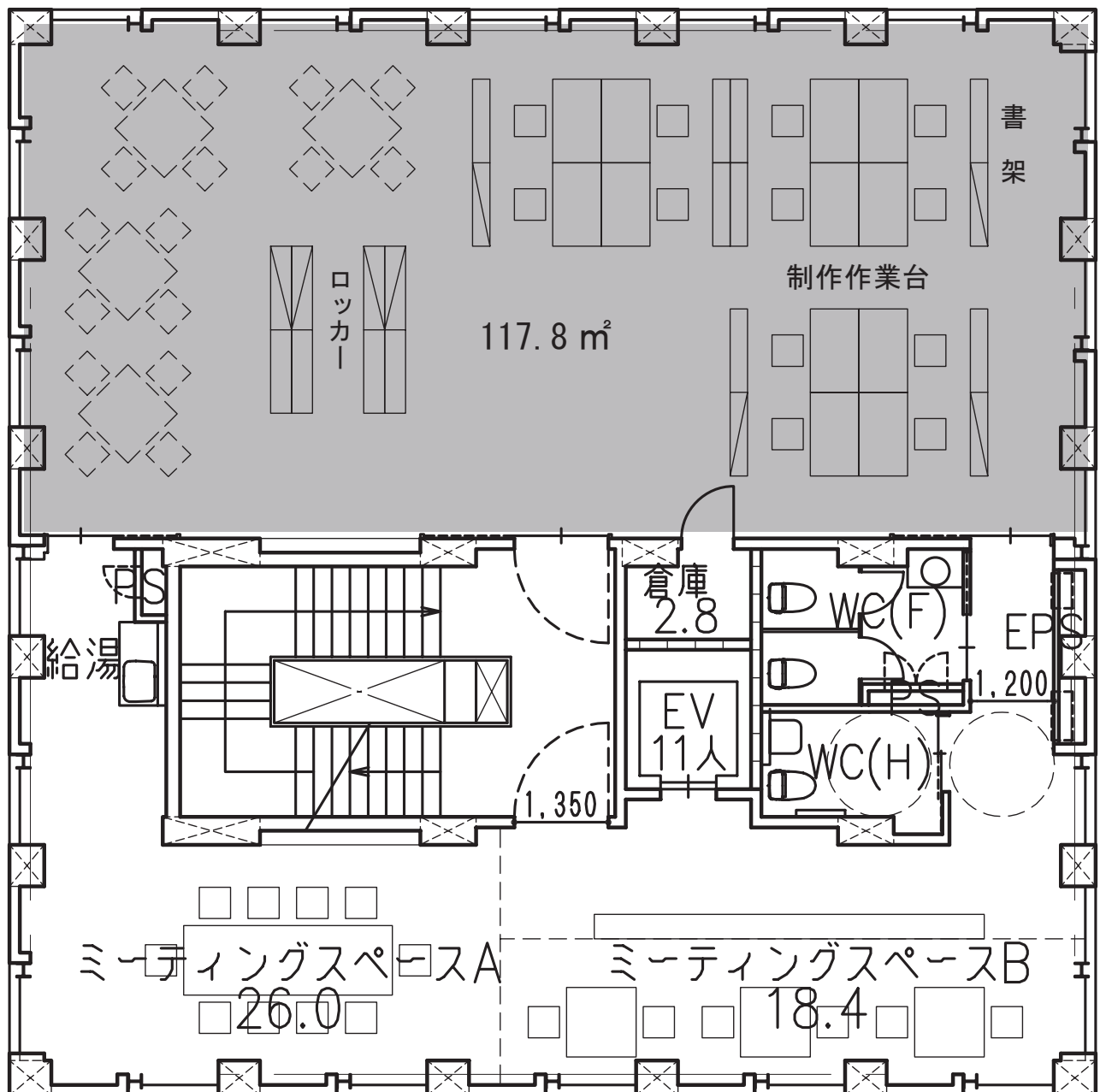
※博士特別研究Ⅲは、教員と学生が協議の上で授業時間帯を設定する。

芸術の森キャンパス 院生研究室見取り図

3 階及び 4 階アトリエ

各階につき 24 人収容（博士前期課程 18 人、博士後期課程 6 人）

2フロア合計で 48 人収容



博士後期課程は入学定員 3 人（収容定員 9 人）に対して長期履修学生を含め 12 人の収容スペースを設ける。

1. 雑誌媒体

芸術の森キャンパス図書館

No.	タイトル	発行元
1	+81	ディー・ディー・ウェブ
2	1996年度プロジェクト研究報告書「札幌のま ちの景観への提案-現況調査とデザイン分析」	札幌市立高等専門学校付属研究所
3	A+U	エー・アンド・ユー
4	A10	A10 Media BV
5	Abitare	[Editrice Segesta]
6	ACM transactions on graphics	Association for Computing Machinery
7	ACM transactions on modeling and computer simulation	Association for Computing Machinery
8	American journal of health promotion	M.P. O'Donnell
9	Architecture intérieure C.R.E.E	Société d'édition et de presse
10	Art and industry	Studio
11	Art in industry	Indian Institute of Art in Industry
12	Artforum international	Artforum International Magazine
13	Auto & design	[Auto & Design]
14	Axis	アクシス
15	BIO city	ビオシティ
16	BT	美術出版社
17	Bulletin of the Faculty of Fine Arts Tokyo National University of Fine Arts and Music	東京芸術大学美術学部
18	Capa	学習研究社
19	Casa brutus	マガジンハウス
20	CG world & digital video	ワークスコーポレーション
21	Communications of the Association for Computing Machinery	Association for Computing Machinery
22	Computational fluid dynamics journal	Japan Society of Computational Fluid Dyn
23	Computer	IEEE Computer Society
24	Confort	建築資料研究社
25	Cree, création et recherches esthétiques européennes	Édition CREE
26	Design	Design Council
27	Design news	日本産業デザイン振興会
28	Detail	
29	Domus	Casa ed. Domus
30	Ekistics	Doxiadis Associates
31	El Croquis	El Croquis
32	Elle deco	タイムアシェットジャパン
33	Environment and behavior	SAGE Publications
34	Flicker!	アクシスパブリッシング
35	Form	Svenska Slöjdföreningens Förlag
36	Form	Westdeutscher Verlag
37	FP	学習研究社
38	ID	[Design Publications]
39	IEEE computer graphics and applications	IEEE Computer Society : National Compute
40	IEEE multimedia	IEEE Computer Society
41	IEEE spectrum	Institute of Electrical and Electronics
42	Industrial design	Design Publications
43	Industrial design	Whitney
44	Industrial design magazine	Design Publication
45	Interior design	Interior Design Division of Whitney Comm
46	Interiors	Billboard
47	Interiors for the contract design industry	
48	IQ	Grosvenor Press International
49	JA	新建築社
50	Japan landscape	プロセスアーキテクチャ
51	Journal of leisure research	National Recreation and Park Association

No.	タイトル	発行元
52	Landscape and urban planning	Elsevier
53	Landscape design	マルモ出版
54	L'Architecture d'aujourd'hui	Jean-Michel Place.
55	Mārg	Marg Publications
56	Marine photo	水中造形センター
57	MD	Konradin-Verlag Robert Kohlhammer
58	Mobilia	Mobilia Productions
59	Modern living	婦人画報社
60	Moebel + Decoration	Konradin-Verlag
61	Mono	ワールドフォトプレス
62	Monocle	Pamela Mullinger
63	My garden	マルモ出版
64	My Lofe	コスモメディア
65	National geographic	日経ナショナルジオグラフィック社
66	New media	ニューメディア
67	Newton	教育社
68	NR+	北海道東海大学北方生活研究所
69	Number	文芸春秋
70	Process: architecture	プロセスアーキテクチュア
71	Product design & development	Advantage Business Media
72	Progress in informatics	Research Organization of Information and
73	Progressive architecture	Reinhold
74	Schöner Wohnen	Constanze-Verlag
75	SCU journal of Design & Nursing	札幌市立大学
76	SD	鹿島研究所出版会
77	SD. 別冊	鹿島研究所出版会
78	Solar cat	OM研究所
79	TACC journal of art and liberal arts	高崎芸術短期大学
80	The architectural digest	Knapp Communications Corporation
81	The architectural review	Architectural Press
82	The English journal	アルク
83	Universal design	Universal Designers & Consultants
84	Wallpaper	[Time Life Entertainment Group]
85	アイデア	誠文堂新光社
86	アイデア. 別冊	誠文堂新光社
87	アサヒカメラ	朝日新聞社
88	あそび文化研究	東京純心女子大学こども文化学科準備委員会
89	アトリエ	アルス
90	インダストリアルデザイン	日本インダストリアルデザイナー協会
91	インテリア	学芸書林
92	インテリア	日本室内設計研究所
93	グラフィック・デザイン	芸美出版社
94	コマースナルフォト	玄光社
95	ジャパン・インテリア	ビスタ
96	すみれ	文化裁縫女学校同窓會
97	スロウ	クナウマガジン
98	ソトコト	木楽舎
99	ダ・ヴィンチ	リクルート
100	ディテール	彰国社
101	デザイン	美術出版社
102	デザイン	美術出版社
103	デザインの現場	美術出版社
104	デザイン学研究	デザイン学会
105	デザイン学研究	日本デザイン学会
106	デザイン学研究作品集	日本デザイン学会
107	トキワ松学園女子短期大学紀要	トキワ松学園女子短期大学造形美術科
108	につけいでざいん	日経マグローヒル社
109	モダンリビング	婦人画報社
110	モダンリビング	婦人画報社
111	ランドスケープ研究	日本造園学会
112	阿南工業高等専門学校研究紀要	阿南工業高等専門学校

No.	タイトル	発行元
113	旭川工業高等専門学校研究報文	旭川工業高等専門学校
114	育英工業高等専門学校研究紀要	育英工業高等専門学校
115	一関工業高等専門学校研究紀要	一関工業高等専門学校
116	茨城工業高等専門学校研究彙報	茨城工業高等専門学校
117	宇部工業高等専門学校研究報告	宇部工業高等専門学校
118	映像情報メディア学会誌	映像情報メディア学会
119	英語が聞こえる耳	朝日新聞社
120	横浜美術短期大学教育・研究紀要	横浜美術短期大学
121	岡山県立大学デザイン学部紀要	岡山県立大学デザイン学部
122	沖縄県立芸術大学紀要	沖縄県立芸術大学
123	科学技術研究センター年報	東京工業高等専門学校
124	会津大学短期大学部研究年報	会津大学短期大学部
125	学術講演会プログラム	日本建築学会
126	学術講演梗概集. E, 建築計画, 農村計画	日本建築学会
127	学術講演梗概集. E-1, 建築計画I, 各種建物・地域施設, 設計方法, 構法計画, 人間工学, 計画基礎	日本建築学会
128	学術講演梗概集. E-2, 建築計画II, 住居・住宅地, 農村計画, 教育	日本建築学会
129	学術講演梗概集. F, 都市計画, 建築経済・住宅問題, 建築史・建築意匠	日本建築学会
130	学術講演梗概集. F, 都市計画, 建築経済・住宅問題, 建築歴史・意匠	日本建築学会
131	学術講演梗概集. F-1, 都市計画, 建築経済・住宅問題	日本建築学会
132	学術講演梗概集. F-2, 建築歴史・意匠	日本建築学会
133	学術講演梗概集. 計画系	日本建築学会
134	環境情報科学	環境情報科学センター
135	環境情報科学. 別冊, 環境情報科学論文集	環境情報科学センター
136	岐阜工業高等専門学校紀要	岐阜工業高等専門学校
137	季刊デザイン	美術出版社
138	季刊まちづくり	学芸出版社
139	季刊銀花	文化服装学院出版局
140	季刊札幌人	札幌グラフィックコミュニケーションズ
141	季刊道具学	道具学会・Folum Douguology事務局
142	紀要	北海道立近代美術館
143	紀要	舞鶴工業高等専門学校
144	紀要	鈴鹿工業高等専門学校
145	久留米工業高等専門学校紀要	久留米工業高等専門学校
146	宮城工業高等専門学校研究紀要	宮城工業高等専門学校
147	弓削商船高等専門学校紀要	弓削商船高等専門学校
148	教育情報科学	北海道教育大学函館分校
149	近畿大学工業高等専門学校紀要	近畿大学工業高等専門学校
150	九州産業大学芸術学会研究報告	九州産業大学芸術学会
151	九州産業大学芸術学部研究報告	九州産業大学芸術学会
152	空間	東京芸術大学美術学部建築科教室
153	釧路公立大学紀要. 社会科学研究	釧路公立大学
154	釧路公立大学紀要. 人文・自然科学研究	釧路公立大学
155	釧路工業高等専門学校紀要	釧路工業高等専門学校
156	熊本電波工業高等専門学校研究紀要	熊本電波工業高等専門学校
157	熊野工業高等専門学校紀要	熊野工業高等専門学校
158	群馬高専レビュー	群馬工業高等専門学校
159	芸術工学	神戸芸術工科大学
160	芸術工学会誌	芸術工学会
161	月刊Moe	偕成社
162	建築研究資料	建設省建築研究所
163	建築研究所年報	建設省建築研究所
164	建築雑誌	造家學會
165	建築知識	全日本建築士会出版局
166	建築文化	[彰国社]
167	研究紀要	仙台電波工業高等専門学校

No.	タイトル	発行元
168	研究紀要	北海道札幌平岸高等学校
169	研究紀要	奈良工業高等専門学校
170	研究紀要	明石工業高等専門学校
171	研究紀要	東京都立航空工業高等専門学校
172	研究紀要	神戸市立工業高等専門学校
173	研究紀要	福島工業高等専門学校
174	研究紀要	秋田工業高等専門学校
175	研究所報	札幌市立高等専門学校附属研究所
176	研究年報	明石工業高等専門学校
177	現代思想	青土社
178	五年課程修了制作梗概集	札幌市立高等専門学校後援会
179	呉工業高等専門学校研究報告	呉工業高等専門学校
180	工業安全に関する研究集録	小山工業高等専門学校
181	工芸ニュース. 総集編	工芸財団
182	工芸ニュース	高山書院
183	広島商船高等専門学校紀要	広島商船高等専門学校
184	広島商船高等専門学校紀要	広島商船高等専門学校
185	江別市セラミックアートセンター年報	江別市セラミックアートセンター
186	講演論文集	日本人間工学会
187	高松工業高等専門学校研究紀要	高松工業高等専門学校
188	高専教育	高等専門学校教育研究会
189	高知工業高等専門学校学術紀要	高知工業高等専門学校
190	高等教育ジャーナル	北海道大学高等教育機能開発総合センター
191	高等専門学校の教育と研究	日本高専学会
192	佐世保工業高等専門学校研究報告	佐世保工業高等専門学校
193	札幌の歴史	札幌市教育委員会文化資料室
194	札幌市統計書	札幌市総務局庶務課
195	札幌市立高等専門学校開校10周年記念誌 DATA BOOK	札幌市立高等専門学校後援会
196	札幌市立高等専門学校紀要	札幌市立高等専門学校
197	札幌市立高等専門学校卒業・修了制作梗概	札幌市立高等専門学校後援会
198	札幌市立高等専門学校卒業・修了制作作品	札幌市立高等専門学校後援会
199	札幌市立高等専門学校卒業制作作品図録	札幌市立高等専門学校後援会
200	札幌市立大学デザイン学部デザイン学科卒業 研究展図録	札幌市立大学
201	札幌市立大学年報	札幌市立大学
202	山口芸術短期大学研究紀要	山口芸術短期大学
203	産業技術大学院大学紀要	産業技術大学院大学
204	思想	岩波書店
205	鹿児島工業高等専門学校研究報告	鹿児島工業高等専門学校
206	室内	工作社
207	秋田公立美術工芸短期大学紀要	秋田公立美術工芸短期大学
208	住宅特集	新建築社
209	所報	北海道東海大学北方生活研究所
210	商店建築	商店建築社
211	小山工業高等専門学校研究紀要	小山工業高等専門学校
212	松江工業高等専門学校研究紀要. 人文・社会	松江工業高等専門学校
213	松江工業高等専門学校研究紀要. 理工編	松江工業高等専門学校
214	沼津工業高等専門学校研究報告	沼津工業高等専門学校
215	情報処理	オーム社
216	情報処理センターブルティン	[北海道]教育大学情報処理センター紀要編集 委員会
217	情報処理センター広報	苫小牧工業高等専門学校情報処理センター
218	情報処理学会論文誌	情報処理学会
219	情報処理教育研究発表会論文集	高等専門学校情報処理教育研究協議会
220	情報処理教育研究論文再録集	高等専門学校情報処理教育研究委員会
221	新居浜工業高等専門学校紀要	新居浜工業高等専門学校
222	新建築	新建築社
223	新建築. 住宅特集	新建築社
224	人間工学	日本人間工学会
225	崇城大学芸術学部研究紀要	崇城大学芸術学部

No.	タイトル	発行元
226	数値流体力学	日本数値流体力学会
227	成安造形短期大学紀要	成安造形短期大学総合芸術研究所
228	精密工学会誌	精密工学会
229	西日本短期大学造園学研究論集	西日本短期大学造園学会
230	石川工業高等専門学校紀要	石川工業高等専門学校
231	設計工学	日本設計工学会
232	宣伝会議	久保田宣伝研究所
233	浅井学園大学短期大学部研究紀要	浅井学園大学短期大学部
234	前橋工科大学研究紀要	前橋工科大学
235	造園技術報告集	日本造園学会
236	造園作品選集	日本造園学会
237	造園雑誌	日本造園学会
238	卒業・修了制作梗概集	札幌市立高等専門学校後援会
239	卒業制作作品集	女子美術大学・女子美術短期大学
240	太陽	平凡社
241	大阪市立大学大学教育	大阪市立大学大学教育研究センター
242	大阪成蹊大学芸術学部紀要	大阪成蹊大学芸術学部
243	大阪成蹊大学芸術学部紀要	大阪成蹊大学芸術学部
244	大阪府立工業高等専門学校研究紀要	大阪府立工業高等専門学校
245	大島商船高等専門学校紀要	大島商船高等専門学校
246	大分工業高等専門学校研究報告	大分工業高等専門学校
247	稚内北星学園大学紀要	稚内北星学園大学
248	竹中大工道具館研究紀要	竹中大工道具館
249	長岡技術科学大学研究報告	長岡技術科学大学
250	長岡技術科学大学言語・人文科学論集	長岡技術科学大学
251	長岡工業高等専門学校研究紀要	長岡工業高等専門学校
252	長岡造形大学研究紀要	長岡造形大学
253	長野工業高等専門学校紀要	長野工業高等専門学校
254	鳥羽商船高等専門学校紀要	鳥羽商船高等専門学校
255	津山工業高等専門学校紀要	津山工業高等専門学校
256	鶴岡工業高等専門学校研究紀要	鶴岡工業高等専門学校
257	伝統みらい研究センター報告書	京都工芸繊維大学
258	都市・建築学研究	九州大学大学院人間環境学研究院都市・建築学部門
259	都市計画	日本都市計画学会
260	都市計画. 別冊	日本都市計画学会
261	都市計画. 別冊, 都市計画論文集	日本都市計画学会
262	都市住宅	鹿島研究所出版会
263	都市問題	東京市政調査會
264	都城工業高等専門学校研究報告	[都城工業高等専門学校]
265	東京家政学院大学紀要	東京家政学院大学: 東京家政学院短期大学
266	東京家政学院大学紀要. 自然科学・工学系	東京家政学院大学: 東京家政学院短期大学
267	東京家政学院大学紀要. 人文・社会科学系	東京家政学院大学: 東京家政学院短期大学
268	東京芸術大学美術学部紀要	東京芸術大学美術学部
269	東京工業高等専門学校研究報告書	東京工業高等専門学校
270	東京工芸大学芸術学部紀要	東京工芸大学芸術学部
271	東京純心女子大学紀要	東京純心女子大学
272	東京都立工業高等専門学校研究報告	東京都立工業高等専門学校
273	東京藝術大学美術学部論叢	東京芸術大学美術学部
274	東北芸術工科大学紀要	東北芸術工科大学
275	道具学会論集	Folum Douguology道具学会事務局
276	道都大学紀要. 社会福祉学部	道都大学紀要編集委員会
277	道都大学紀要. 美術学部	道都大学紀要編集委員会
278	道路と自然	道路緑化保全協会
279	徳山工業高等専門学校研究紀要	徳山工業高等専門学校
280	苫小牧工業高等専門学校紀要	苫小牧工業高等専門学校
281	日経アーキテクチュア	日経マグローヒル社
282	日経デザイン	日経BP社
283	日本の美術	至文堂
284	日本機械学会誌	日本機械学会
285	日本建築学会環境系論文集	日本建築学会

No.	タイトル	発行元
286	日本建築学会計画系論文集	日本建築学会
287	日本建築学会計画系論文報告集	日本建築学会
288	日本建築学会構造系論文報告集	日本建築学会
289	日本建築学会論文報告集	日本建築学会
290	日本航空宇宙学会誌	日本航空宇宙学会
291	日本航空宇宙学会論文集	日本航空宇宙学会
292	日本人間工学会関東支部大会論文集	日本人間工学会関東支部事務局
293	日本人間工学会大会講演集	日本人間工学会
294	日本人間工学会大会講演論文集	日本人間工学会
295	日本人間工学会大会予稿集	日本人間工学会
296	日本人間工学会大会論文集	日本人間工学会
297	日本数学教育学会高専・大学部会論文誌	日本数学教育学会高専・大学部会
298	日本緑化工学会誌	日本緑化工学会
299	日本林学会大会講演要旨集	日本林学会大会運営委員会
300	年報	札幌市芸術文化財団芸術の森事業部総務課
301	函館工業高等専門学校紀要	函館工業高等専門学校
302	八戸工業高等専門学校紀要	八戸工業高等専門学校
303	八代高専紀要	八代工業高等専門学校
304	比治山大学短期大学部紀要	比治山学園比治山大学短期大学部
305	富山工業高等専門学校紀要	国立富山工業高等専門学校
306	富山商船高等専門学校研究集録	富山商船高等専門学校
307	武蔵野美術大学研究紀要	武蔵野美術大学
308	舞鶴工業高等専門学校情報科学センター年報	舞鶴工業高等専門学校
309	文化女子大学紀要. 人文・社会科学研究	文化女子大学
310	文化女子大学紀要. 服装学・生活造形学研究	文化女子大学
311	文星紀要	宇都宮文星短期大学
312	米子工業高等専門学校研究報告	米子工業高等専門学校
313	別冊BT美術手帖. 季刊コミッカーズ	美術出版社
314	別冊デザインの現場	美術出版社
315	別冊新建築. 日本現代建築家シリーズ	新建築社
316	暮らしの手帖. 4世紀	暮らしの手帖社
317	暮らしの手帖. 第3世紀	暮らしの手帖社
318	宝石の四季	ジュエリージャーナル
319	豊田工業高等専門学校研究紀要	豊田工業高等専門学校
320	北海学園大学工学部研究報告	[北海学園大学工学部]
321	北海道アメリカ文学	日本アメリカ文学会北海道支部
322	北海道開拓記念館研究紀要	北海道開拓記念館
323	北海道開拓記念館調査報告	北海道開拓記念館
324	北海道教育大学情報処理センター紀要	北海道教育大学情報処理センター
325	北海道情報大学紀要	北海道情報大学
326	北海道浅井学園大学短期大学部研究紀要	北海道浅井学園大学短期大学部
327	北海道大学留学生センター紀要	北海道大学留学生センター
328	北海道東海大学教育研究年報	北海道東海大学
329	北海道武蔵女子短期大学紀要	北海道武蔵女子短期大学
330	北海道立近代美術館年報	北海道立近代美術館
331	北海道立函館美術館年報	北海道立函館美術館
332	北翔大学短期大学部研究紀要	北翔大学短期大学部
333	本の雑誌	本の雑誌社
334	名古屋造形芸術大学研究紀要	同朋学園名古屋造形芸術大学
335	名古屋造形芸術大学名古屋造形芸術大学短期大学部紀要	同朋学園名古屋造形芸術大学：名古屋造形芸術大学短期大学部
336	名古屋造形芸術大学名古屋造形芸術短期大学紀要	同朋学園名古屋造形芸術大学：名古屋造形芸術短期大学
337	名古屋造形芸術短期大学研究紀要	名古屋造形芸術短期大学
338	名古屋造形大学紀要	名古屋造形大学
339	名古屋造形大学名古屋造形芸術大学短期大学部紀要	名古屋造形大学：名古屋造形芸術大学短期大学部
340	明星大学研究紀要. 日本文化学部・造形芸術学科	明星大学青梅校舎
341	木工界	工作社
342	木更津工業高等専門学校紀要	木更津工業高等専門学校

No.	タイトル	発行元
343	流行通信	流行通信
344	緑の読本	公害対策技術同友会
345	論文集高専教育	国立高等専門学校協会
346	和歌山工業高等専門学校研究紀要	和歌山工業高等専門学校
347	詫間電波工業高等専門学校研究紀要	詫間電波工業高等専門学校
348	藝術新潮	新潮社
349	鳩	京都成安学園・成安造形大学

2. 電子ジャーナル

芸術の森キャンパス図書館

No.	タイトル	発行元
1	Archival Science	Springer-Verlag
2	Information Design Journal	John Benjamins Publishing
3	Information Technology & Tourism	Cognizant Communication
4	19th-Century Music	University of California Press
5	Acta Musicologica	International Musicological Society
6	African Languages and Cultures	Taylor & Francis, Ltd.
7	African Languages and Cultures. Supplement	Taylor & Francis, Ltd.
8	AJS Review	Association for Jewish Studies;Cambridge University Press
9	Alif: Journal of Comparative Poetics	Department of English and Comparative Literature, American University in Cairo and American University in Cairo Press
10	American Art	Smithsonian American Art Museum;The University of Chicago Press
11	American Art Journal	Kennedy Galleries, Inc.
12	The American Journal of Theology	The University of Chicago Press
13	American Literary History	Oxford University Press
14	American Music	University of Illinois Press
15	American Speech	Duke University Press
16	Anuario	University of Texas Press
17	Anuario Interamericano de Investigacion Musical	
18	APT Bulletin	Association for Preservation Technology International (APT)
19	Architectural History	SAHGB Publications Limited
20	Archiv für Musikwissenschaft	Franz Steiner Verlag
21	Archives of American Art Journal	The Smithsonian Institution
22	The Art Bulletin	College Art Association
23	Art Journal	College Art Association
24	Artibus Asiae	Artibus Asiae Publishers
25	Artibus Asiae. Supplementum	Artibus Asiae Publishers
26	Artibus et Historiae	IRSA s.c.
27	Asian Ethnology	Nanzan Institute for Religion and Culture
28	Asian Folklore Studies	Nanzan Institute for Religion and Culture
29	Asian Music	University of Texas Press
30	Asian Theatre Journal	University of Hawai'i Press
31	Assemblage	The MIT Press
32	The Biblical World	The University of Chicago Press
33	Black Music Research Journal	Center for Black Music Research – Columbia College Chicago;University of Illinois Press
34	boundary 2	Duke University Press
35	Bouwsteenen	Koninklijke Vereniging voor Nederlandse Muziekgeschiedenis
36	British Journal of Ethnomusicology	British Forum for Ethnomusicology
37	Buddhist-Christian Studies	University of Hawai'i Press
38	Bulletin (Archives of American Art)	The Smithsonian Institution
39	Bulletin of the American Association of Teachers of Italian	American Association of Teachers of Italian
40	Bulletin of the American Group. International Institute for Conservation of Historic and Artistic Works	The American Institute for Conservation of Historic & Artistic Works
41	Bulletin of the American Institute for Conservation of Historic and Artistic Works	The American Institute for Conservation of Historic & Artistic Works
42	Bulletin of the American Musicological Society	American Musicological Society;University of California Press
43	Bulletin of the Association for Preservation Technology	Association for Preservation Technology International (APT)
44	The Bulletin of the College Art Association	College Art Association
45	The Bulletin of the College Art Association of	College Art Association

No.	タイトル	発行元
46	The Bulletin of the Midwest Modern Language Association	Midwest Modern Language Association
47	The Bulletin of the Rocky Mountain Modern Language Association	Rocky Mountain Modern Language Association
48	The Burlington Magazine	The Burlington Magazine Publications, Ltd.
49	The Burlington Magazine for Connoisseurs	The Burlington Magazine Publications, Ltd.
50	California Folklore Quarterly	Western States Folklore Society
51	Cambridge Opera Journal	Cambridge University Press
52	The Carleton Drama Review	The MIT Press
53	Chinese Literature: Essays, Articles, Reviews	Chinese Literature: Essays, Articles, Reviews
54	Church History	American Society of Church History;Cambridge University Press
55	Cinema Journal	Society for Cinema & Media Studies;University of Texas Press
56	College Art Journal	College Art Association
57	College Composition and Communication	National Council of Teachers of English
58	College English	National Council of Teachers of English
59	Comparative Literature	Duke University Press;University of Oregon
60	Contemporary Literature	University of Wisconsin Press
61	CORD News	Congress on Research in Dance
62	Critical Inquiry	The University of Chicago Press
63	Cultural Critique	University of Minnesota Press
64	Dance Chronicle	Taylor & Francis, Ltd.
65	Dance Research Journal	Congress on Research in Dance;University of Illinois Press
66	Dance Research: The Journal of the Society for Dance Research	Edinburgh University Press
67	Design Issues	The MIT Press
68	Diacritics	The Johns Hopkins University Press
69	The Drama Review: TDR	The MIT Press
70	Dumbarton Oaks Papers	Dumbarton Oaks, Trustees for Harvard University
71	Early Music	Oxford University Press
72	Early Music History	Cambridge University Press
73	Educational Theatre Journal	The Johns Hopkins University Press
74	Ethnomusicology	Society for Ethnomusicology;University of Illinois
75	Ethnomusicology Forum	British Forum for Ethnomusicology;Taylor & Francis, Ltd.
76	Feminist Studies	Feminist Studies, Inc.
77	Film Quarterly	University of California Press
78	The Folk-Lore Journal	Folklore Enterprises, Ltd.;Taylor & Francis, Ltd.
79	The Folk-Lore Record	Folklore Enterprises, Ltd.;Taylor & Francis, Ltd.
80	Folklore	Folklore Enterprises, Ltd.;Taylor & Francis, Ltd.
81	Folklore Studies	Nanzan Institute for Religion and Culture
82	The French Review	American Association of Teachers of French
83	The French Review. Special Issue	American Association of Teachers of French
84	The Galpin Society Journal	Galpin Society
85	Garden History	The Garden History Society
86	The Garden History Society Newsletter	The Garden History Society
87	The German Quarterly	American Association of Teachers of German;Blackwell Publishing
88	Gesta	International Center of Medieval Art
89	Grey Room	The MIT Press
90	The Harvard Theological Review	Cambridge University Press;Harvard Divinity
91	The Hebrew Student	The University of Chicago Press
92	Hispania	American Association of Teachers of Spanish and Portuguese
93	Hispanic Review	University of Pennsylvania Press
94	History of Religions	The University of Chicago Press
95	Hollywood Quarterly	University of California Press
96	International Review of Music Aesthetics and	Croatian Musicological Society
97	International Review of the Aesthetics and Sociology of Music	Croatian Musicological Society
98	Italica	American Association of Teachers of Italian
99	JAE	Association of Collegiate Schools of Architecture, Inc.;Blackwell Publishing
100	Japanese Language and Literature	Association of Teachers of Japanese
101	The Jewish Quarterly Review	University of Pennsylvania Press
102	Journal of African Cultural Studies	Taylor & Francis, Ltd.

No.	タイトル	発行元
103	Journal of Architectural Education (1947-1974)	Association of Collegiate Schools of Architecture, Inc.;Blackwell Publishing
104	Journal of Architectural Education (1984-)	Association of Collegiate Schools of Architecture, Inc.;Blackwell Publishing
105	Journal of Bible and Religion	Oxford University Press
106	Journal of Biblical Literature	The Society of Biblical Literature
107	The Journal of Decorative and Propaganda Arts	Florida International University Board of Trustees on behalf of The Wolfsonian-FIU
108	Journal of Design History	Design History Society;Oxford University Press
109	Journal of Music Theory	Duke University Press;Yale University Department of Music
110	The Journal of Musicology	University of California Press
111	The Journal of Religion	The University of Chicago Press
112	Journal of Religion in Africa	BRILL
113	Journal of the American Academy of Religion	Oxford University Press
114	Journal of the American Institute for Conservation	The American Institute for Conservation of Historic & Artistic Works
115	Journal of the American Musicological Society	American Musicological Society;University of California Press
116	Journal of the American Society of Architectural Historians	Society of Architectural Historians;University of California Press
117	The Journal of the Association of Teachers of Japanese	Association of Teachers of Japanese
118	Journal of the International Folk Music Council	International Council for Traditional Music
119	The Journal of the Midwest Modern Language Association	Midwest Modern Language Association
120	Journal of the National Association of Biblical Instructors	Oxford University Press
121	Journal of the Royal Musical Association	Royal Musical Association;Taylor & Francis, Ltd.
122	Journal of the Society of Architectural Historians	Society of Architectural Historians;University of California Press
123	Journal of the Society of Biblical Literature and Exegesis	The Society of Biblical Literature
124	The Journal of the Society of Cinematologists	Society for Cinema & Media Studies;University of Texas Press
125	Journal of the Warburg and Courtauld Institutes	The Warburg Institute
126	Journal of the Warburg Institute	The Warburg Institute
127	The Journal-Newsletter of the Association of Teachers of Japanese	Association of Teachers of Japanese
128	Language	Linguistic Society of America
129	Latin American Music Review / Revista de Música Latinoamericana	University of Texas Press
130	Lenox Avenue: A Journal of Interarts Inquiry	Center for Black Music Research - Columbia College Chicago
131	Leonardo	The MIT Press
132	Leonardo Music Journal	The MIT Press
133	Leonardo. Supplemental Issue	The MIT Press
134	Lied und populäre Kultur / Song and Popular	Deutsches Volksliedarchiv
135	Marburger Jahrbuch für Kunstwissenschaft	Verlag des Kunstgeschichtlichen Seminars der Philipps-Universität Marburg
136	Master Drawings	Master Drawings Association
137	MELUS	The Society for the Study of the Multi-Ethnic Literature of the United States (MELUS)
138	Metropolitan Museum Journal	The Metropolitan Museum of Art
139	The Metropolitan Museum of Art Bulletin	The Metropolitan Museum of Art
140	Metropolitan Museum Studies	The Metropolitan Museum of Art
141	Modern Judaism	Oxford University Press
142	Modern Language Association of America.	Modern Language Association
143	The Modern Language Journal	Blackwell Publishing;National Federation of Modern Language Teachers Associations
144	Modern Language Studies	Modern Language Studies
145	Modern Philology	The University of Chicago Press
146	Muqarnas	BRILL
147	Music Analysis	Blackwell Publishing
148	Music & Letters	Oxford University Press
149	Music Theory Spectrum	Society for Music Theory;University of California
150	The Musical Quarterly	Oxford University Press
151	The Musical Times	Musical Times Publications Ltd.
152	The Musical Times and Singing Class Circular	Musical Times Publications Ltd.

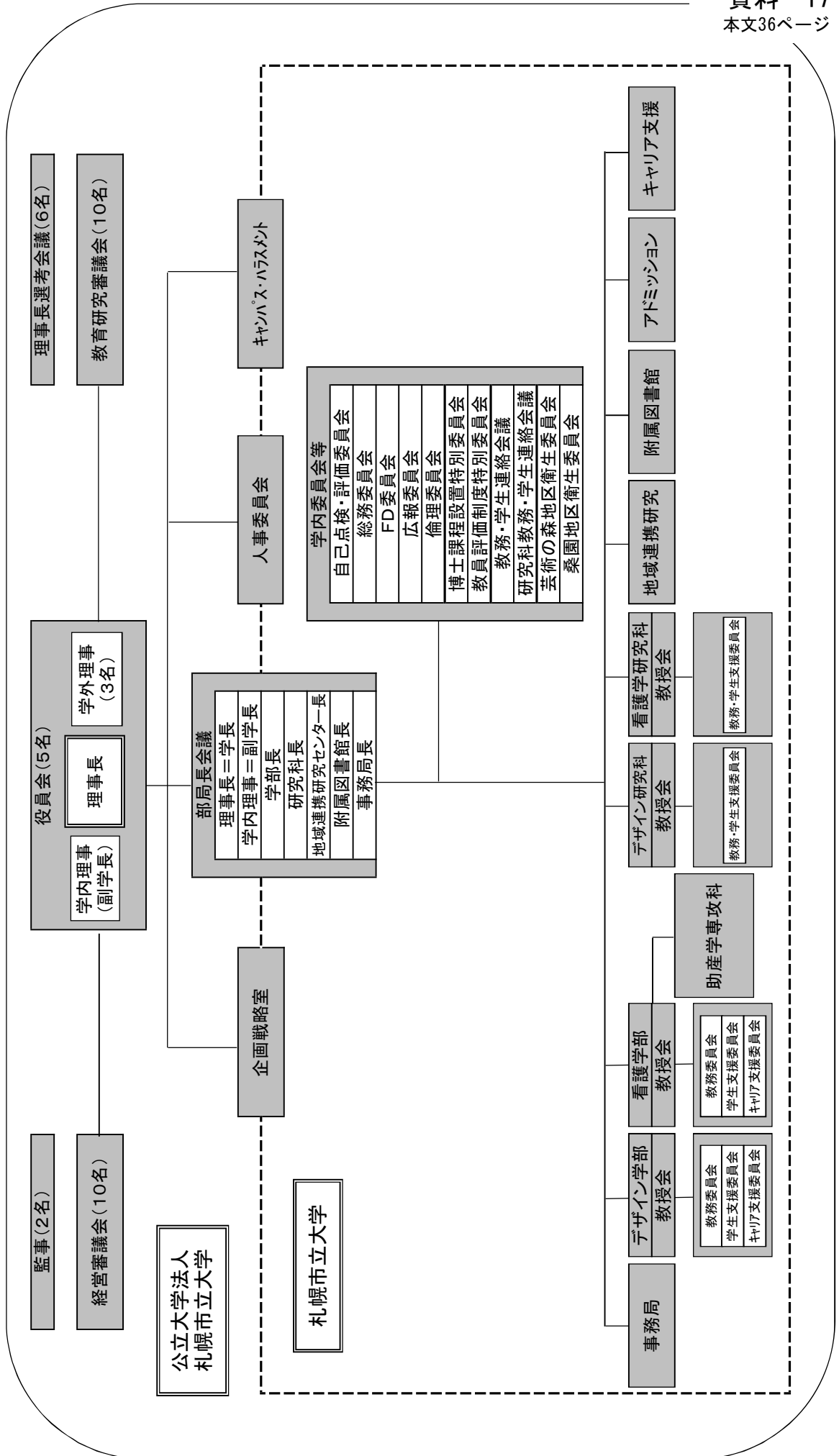
No.	タイトル	発行元
153	The New England Quarterly	The New England Quarterly, Inc.
154	New German Critique	Duke University Press
155	New Literary History	The Johns Hopkins University Press
156	The News Bulletin of the Rocky Mountain Modern Language Association	Rocky Mountain Modern Language Association
157	Newsletter of the Association for Preservation Technology	Association for Preservation Technology International (APT)
158	Notable Acquisitions (Metropolitan Museum of Art)	The Metropolitan Museum of Art
159	Notes	Music Library Association
160	NOVEL: A Forum on Fiction	Duke University Press
161	Novum Testamentum	BRILL
162	Numen	BRILL
163	Occasional Paper (Garden History Society)	The Garden History Society
164	October	The MIT Press
165	The Old and New Testament Student	The University of Chicago Press
166	The Old Testament Student	The University of Chicago Press
167	Oriens	BRILL
168	Oxford Art Journal	Oxford University Press
169	Pacific Coast Philology	Pacific Ancient and Modern Language Association
170	PAJ: A Journal of Performance and Art	The MIT Press;Performing Arts Journal, Inc.
171	Parnassus	College Art Association
172	Performing Arts Journal	Performing Arts Journal, Inc.
173	Perspecta	The MIT Press
174	Perspectives of New Music	Perspectives of New Music
175	Philosophy East and West	University of Hawai'i Press
176	PMLA	Modern Language Association
177	Poetics Today	Duke University Press
178	Popular Music	Cambridge University Press
179	Proceedings of the Musical Association	Royal Musical Association;Taylor & Francis, Ltd.
180	Proceedings of the Royal Musical Association	Royal Musical Association;Taylor & Francis, Ltd.
181	Quarterly Bulletin (Archives of American Art)	The Smithsonian Institution
182	Quarterly Newsletter (Garden History Society)	The Garden History Society
183	The Quarterly of Film Radio and Television	University of California Press
184	Recent Acquisitions (Metropolitan Museum of Art)	The Metropolitan Museum of Art
185	Religion and American Culture: A Journal of Interpretation	Center for the Study of Religion and American Culture;University of California Press
186	The Review of English Studies	Oxford University Press
187	Revue de Musicologie	Société Française de Musicologie
188	Rhetoric Review	Taylor & Francis, Ltd.
189	La Ricerca Folklorica	Grafo s.p.a.
190	Rocky Mountain Review	Rocky Mountain Modern Language Association
191	Rocky Mountain Review of Language and Literature	Rocky Mountain Modern Language Association
192	Sammelbande der Internationalen	Franz Steiner Verlag
193	Signs	The University of Chicago Press
194	Smithsonian Studies in American Art	Smithsonian American Art Museum;The University of Chicago Press
195	Social Text	Duke University Press
196	South Atlantic Bulletin	South Atlantic Modern Language Association
197	South Atlantic Review	South Atlantic Modern Language Association
198	The South Central Bulletin	The Johns Hopkins University Press;The South Central Modern Language Association
199	South Central Review	The Johns Hopkins University Press;The South Central Modern Language Association
200	Studia Islamica	Maisonneuve & Larose
201	Studia Musicologica Academiae Scientiarum Hungaricae	Akademiai Kiadó
202	Studies in Conservation	International Institute for Conservation of Historic and Artistic Works
203	Studies in English Literature, 1500-1900	Rice University
204	TDR (1967-1968)	The MIT Press
205	TDR (1988-)	The MIT Press
206	Tempo	Cambridge University Press
207	Theatre Journal	The Johns Hopkins University Press
208	Tijdschrift der Vereeniging voor Noord-Nederlands Muziekgeschiedenis	Koninklijke Vereniging voor Nederlandse Muziekgeschiedenis
209	Tijdschrift van de Koninklijke Vereniging voor Nederlandse Muziekgeschiedenis	Koninklijke Vereniging voor Nederlandse Muziekgeschiedenis
210	Tijdschrift van de Vereniging voor Nederlandse Muziekgeschiedenis	Koninklijke Vereniging voor Nederlandse Muziekgeschiedenis

No.	タイトル	発行元
211	Transactions and Proceedings of the Modern Language Association of America	Modern Language Association
212	Transactions of the Modern Language Association of America	Modern Language Association
213	The Tulane Drama Review	The MIT Press
214	Tulsa Studies in Women's Literature	University of Tulsa
215	Twentieth Century Literature	Hofstra University
216	Vetus Testamentum	BRILL
217	Vigiliae Christianae	BRILL
218	Die Welt des Islams	BRILL
219	Western Folklore	Western States Folklore Society
220	Winterthur Portfolio	Henry Francis du Pont Winterthur Museum, Inc.;The University of Chicago Press
221	Wisconsin Studies in Contemporary Literature	University of Wisconsin Press
222	Woman's Art Journal	Old City Publishing, Inc.;Woman's Art, Inc.
223	Yearbook for Traditional Music	International Council for Traditional Music
224	Yearbook of the International Folk Music Council	International Council for Traditional Music
225	Zeitschrift für Kunstgeschichte	Deutscher Kunstverlag GmbH Munchen Berlin
226	The Academy of Management Journal	Academy of Management
227	The Academy of Management Review	Academy of Management
228	The Accounting Review	American Accounting Association
229	Administrative Science Quarterly	Johnson Graduate School of Management, Cornell University
230	American Bar Foundation Research Journal	American Bar Foundation;Blackwell Publishing
231	American Educational Research Journal	American Educational Research Association
232	The American Journal of Comparative Law	American Society of Comparative Law
233	American Journal of Education	The University of Chicago Press
234	The American Journal of Legal History	Temple University
235	The American Journal of Police Science	Northwestern University
236	The American Journal of Psychology	University of Illinois Press
237	The American Law Register (1852-1891)	The University of Pennsylvania Law Review
238	The American Law Register (1898-1907)	The University of Pennsylvania Law Review
239	The American Law Register and Review	The University of Pennsylvania Law Review
240	Anthropology & Education Quarterly	American Anthropological Association;Blackwell Publishing
241	Arab Law Quarterly	BRILL
242	Art Education	National Art Education Association
243	British Educational Research Journal	BERA;Taylor & Francis, Ltd.
244	British Journal of Educational Studies	Blackwell Publishing;Society for Educational
245	British Journal of Law and Society	Blackwell Publishing;Cardiff University
246	British Journal of Sociology of Education	Taylor & Francis, Ltd.
247	California Law Review	California Law Review, Inc.
248	Cardozo Studies in Law and Literature	Cardozo School of Law;University of California
249	Child Development	Blackwell Publishing;Society for Research in Child Development
250	Cognition and Instruction	Taylor & Francis, Ltd.
251	Columbia Law Review	Columbia Law Review Association, Inc.
252	Comparative Education	Taylor & Francis, Ltd.
253	Comparative Education Review	Comparative and International Education Society;The University of Chicago Press
254	Council on Anthropology and Education Newsletter	American Anthropological Association
255	Council on Anthropology and Education Quarterly	American Anthropological Association
256	The Course of Study	The University of Chicago Press
257	Crime and Justice	The University of Chicago Press
258	Criminal Science Monographs	
259	Curriculum Inquiry	Blackwell Publishing;Ontario Institute for Studies in Education/University of Toronto
260	Curriculum Theory Network	Blackwell Publishing;Ontario Institute for Studies in Education/University of Toronto
261	Duke Bar Journal	Duke University School of Law
262	Duke Law Journal	Duke University School of Law
263	Educational Evaluation and Policy Analysis	American Educational Research Association
264	Educational Research Bulletin	Taylor & Francis, Ltd.
265	Educational Researcher	American Educational Research Association
266	Educational Studies in Mathematics	Springer
267	The Elementary School Journal	The University of Chicago Press
268	The Elementary School Teacher	The University of Chicago Press
269	The Elementary School Teacher and Course of	The University of Chicago Press
270	The English Journal	National Council of Teachers of English

No.	タイトル	発行元
271	European Journal of Education	Blackwell Publishing
272	The Future of Children	Princeton University
273	Harvard Law Review	The Harvard Law Review Association
274	Higher Education	Springer
275	Human Rights Quarterly	The Johns Hopkins University Press
276	Industrial and Labor Relations Review	Cornell University, School of Industrial & Labor Relations
277	The International and Comparative Law Quarterly	British Institute of International and Comparative Law;Cambridge University Press
278	The International Law Quarterly	British Institute of International and Comparative Law;Cambridge University Press
279	Islamic Law and Society	BRILL
280	Journal for Research in Mathematics Education	National Council of Teachers of Mathematics
281	Journal for Research in Mathematics Education. Monograph	National Council of Teachers of Mathematics
282	Journal of Accounting Research	Accounting Research Center, Booth School of Business, University of Chicago;Blackwell
283	Journal of Aesthetic Education	University of Illinois Press
284	Journal of African Law	Cambridge University Press;School of Oriental and African Studies
285	Journal of Comparative Legislation and International Law	British Institute of International and Comparative Law;Cambridge University Press
286	The Journal of Consumer Research	The University of Chicago Press
287	Journal of Criminal Law and Criminology (1931-	Northwestern University
288	The Journal of Criminal Law and Criminology	Northwestern University
289	The Journal of Criminal Law, Criminology, and Police Science	Northwestern University
290	The Journal of Economic Education	Taylor & Francis, Ltd.
291	Journal of Educational and Behavioral Statistics	American Educational Research Association;American Statistical Association
292	Journal of Educational Measurement	National Council on Measurement in Education
293	Journal of Educational Statistics	American Educational Research Association;American Statistical Association
294	The Journal of Human Resources	University of Wisconsin Press
295	The Journal of Insurance	American Risk and Insurance Association
296	Journal of International Business Studies	Palgrave Macmillan Journals
297	Journal of Law and Economics	The University of Chicago Press
298	Journal of Law and Religion	Journal of Law and Religion, Inc.
299	Journal of Law and Society	Blackwell Publishing;Cardiff University
300	Journal of Law, Economics, & Organization	Oxford University Press
301	The Journal of Legal Studies	The University of Chicago Press
302	Journal of Occupational Behaviour	John Wiley & Sons
303	Journal of Organizational Behavior	John Wiley & Sons
304	Journal of Policy Analysis and Management	Association for Public Policy Analysis and Management;John Wiley & Sons
305	Journal of Public Administration Research and Theory: J-PART	Oxford University Press;Public Management Research Association
306	Journal of Public Health Policy	Palgrave Macmillan Journals
307	Journal of Research in Music Education	MENC: The National Association for Music
308	The Journal of Risk and Insurance	American Risk and Insurance Association
309	The Journal of the Academy of Management	Academy of Management
310	Journal of the American Association of University Teachers of Insurance	American Risk and Insurance Association
311	Journal of the American Institute of Criminal Law and Criminology	Northwestern University
312	The Journal of the Learning Sciences	Taylor & Francis, Ltd.
313	The Journal of the Operational Research Society	Operational Research Society;Palgrave Macmillan Journals
314	Journal of the Operations Research Society of America	INFORMS
315	Journal of the Society of Comparative Legislation	British Institute of International and Comparative Law;Cambridge University Press
316	Law and Contemporary Problems	Duke University School of Law
317	Law and History Review	American Society for Legal History;University of Illinois Press
318	Law and Human Behavior	Springer
319	Law and Literature	Cardozo School of Law;University of California
320	Law and Philosophy	Springer
321	Law & Social Inquiry	American Bar Foundation;Blackwell Publishing

No.	タイトル	発行元
322	Law & Society Review	Blackwell Publishing;Law and Society Association
323	Learning Disability Quarterly	Council for Learning Disabilities
324	Management Science	INFORMS
325	Management Technology	INFORMS
326	Managerial and Decision Economics	John Wiley & Sons
327	Marketing Science	INFORMS
328	Michigan Law Review	The Michigan Law Review Association
329	The Milbank Memorial Fund Quarterly	Blackwell Publishing;Milbank Memorial Fund
330	The Milbank Memorial Fund Quarterly Bulletin	Blackwell Publishing;Milbank Memorial Fund
331	The Milbank Memorial Fund Quarterly. Health and Society	Blackwell Publishing;Milbank Memorial Fund
332	The Milbank Quarterly	Blackwell Publishing;Milbank Memorial Fund
333	MIS Quarterly	Management Information Systems Research Center, University of Minnesota
334	The Modern Law Review	Blackwell Publishing;Modern Law Review
335	Monographs of the Society for Research in Child Development	Blackwell Publishing;Society for Research in Child Development
336	Music Educators Journal	MENC: The National Association for Music
337	Music Supervisors' Bulletin	MENC: The National Association for Music
338	Music Supervisors' Journal	MENC: The National Association for Music
339	Operational Research Quarterly (1950-1952)	Operational Research Society;Palgrave Macmillan Journals
340	Operational Research Quarterly (1970-1977)	Operational Research Society;Palgrave Macmillan Journals
341	Operations Research	INFORMS
342	OR	Operational Research Society
343	Organization Science	INFORMS
344	Oxford Journal of Legal Studies	Oxford University Press
345	Oxford Review of Education	Taylor & Francis, Ltd.
346	Paedagogica Europaea	Blackwell Publishing
347	Peabody Journal of Education	Taylor & Francis, Ltd.
348	Problems of the War	British Institute of International and Comparative Law;Cambridge University Press
349	Proceedings of the Annual Meeting (American Association of University Teachers of Insurance)	American Risk and Insurance Association
350	Psychological Inquiry	Taylor & Francis, Ltd.
351	Public Administration Review	American Society for Public Administration;Blackwell Publishing
352	Public Performance & Management Review	M.E. Sharpe, Inc.
353	Public Productivity & Management Review	M.E. Sharpe, Inc.
354	Public Productivity Review	M.E. Sharpe, Inc.
355	Publius	Oxford University Press
356	Reading Research Quarterly	International Reading Association
357	Research Intelligence	BERA;Taylor & Francis, Ltd.
358	Review of Educational Research	American Educational Research Association
359	Review of Research in Education	American Educational Research Association
360	The School Review	The University of Chicago Press
361	Stanford Intramural Law Review	Stanford Law Review
362	Stanford Law Review	Stanford Law Review
363	Strategic Management Journal	John Wiley & Sons
364	Studies in Art Education	National Art Education Association
365	Supreme Court Economic Review	The University of Chicago Press
366	The Supreme Court Review	The University of Chicago Press
367	Teaching Sociology	American Sociological Association
368	TESOL Quarterly	Teachers of English to Speakers of Other Languages, Inc. (TESOL)
369	Theory into Practice	Taylor & Francis, Ltd.
370	Transactions of the Grotius Society	British Institute of International and Comparative Law;Cambridge University Press
371	Universal Human Rights	The Johns Hopkins University Press
372	The University of Chicago Law Review	The University of Chicago Law Review
373	University of Pennsylvania Law Review	The University of Pennsylvania Law Review
374	University of Pennsylvania Law Review and American Law Register	The University of Pennsylvania Law Review
375	The University of Toronto Law Journal	University of Toronto Press
376	The Virginia Law Register	Virginia Law Review
377	Virginia Law Review	Virginia Law Review
378	The Yale Law Journal	The Yale Law Journal Company, Inc.

2011年度(平成23年度)公立大学法人札幌市立大学 組織図



2010年度(平成22年度) F D 研修会実績

1. 学外 F D 研修会

開催日	研修会名 (主催者)	場所	参加者 (数)
4月24日	これからの大学教育の質保証のあり方 —大学と評価機関の役割—	上智大学	教員(FD委員) 1名
9月2日、 9月3日	東北・北海道地区大学一般教育研究会	札幌大学	教員(FD委員) 3名
8月19日、 8月20日	I D E 大学セミナー	ホテル札幌 ガーデンパレス	教員(FD委員) 4名
9月30日	教育著作権セミナー (メディア教育開発センター)	北海道大学	看護学部教員 2名
11月22日	大学教育と職業との接続を考える (第1回)	東京大学	事務職員1名
12月20日	大学教育と職業との接続を考える (第2回)	東京大学	事務職員1名

2. 学内 F D 研修会 (全学)

開催日	研修会名 (講師)	場所	参加者 (数)
10月25日	発達障害の疑いのある学生を支援するために	講義室3	教職員30名
11月17日	大学生の就業力育成事業の概要と今後の取り組み	桑園：大会議室 芸森：大会議室 (遠隔利用)	教職員82名
11月30日	大学における知的財産の活用	桑園：大会議室 芸森：大会議室 (遠隔利用)	教職員32名
12月7日	札幌市立大学海外研修旅行 (スタディツアー・マレーシア) 報告	桑園：大会議室 芸森：大会議室 (遠隔利用)	教職員39名
12月27日	シラバスの記載項目、記載方法等について	桑園：講義室1 芸森：大会議室 (遠隔利用)	教員 7 名

3. 学内 F D 研修会 (学部)

(1) デザイン学部

開催日	研修会名 (講師)	場所	参加者 (数)
4月1日	デザイン学部教員としての心構え (酒井デザイン学部長)	学部長室	新任教員2名
10月7日	T A の心構えについて (城間デザイン研究科長)	レクチャールーム	教員 6 名、 大学院生 5 名
2月24日	卒業研究事例に基づくコース専門教育に係る意見交換 (コースごとのプレゼンテーション)	階段教室	教職員28名

(2) 看護学部

開催日	研修会名（講師）	場所	参加者（数）
6月16日	教育GP各実施部門の平成21年度実施・評価報告および平成22年度の実施計画	講義室4	教員33名
9月13日、 9月14日	らくらく動作介助の教授法	4階実習室	教員36名
12月7日	平成22年度新任教員および大学院生を対象とした教育GPにおける看護OSCEの概要と教育における成果	講義室4	教職員27名
12月20日	大学院研究科科目『看護研究法特論』と大学院生への研究指導法	講義室4	教員18名
2月2日	OSCE実施時における評価スキルアップのために	講義室1	教員36名
3月8日	ポートフォリオとはなにか～その本質と効果	講義室4	教職員36名

4. 教員相互の授業参観の実施

開催日	授業名（担当者）	場所	参加者（数）
5月13日	デザイン総合実習 II（上遠野教授、吉田和夫教授、武邑教授、武田准教授、須之内助教）	C302	5名
7月13日	ネットワークシステムデザイン（大淵講師）	コンテンツ・アトリエ	3名
7月23日	総合実習 II（空間・那須講師）	A棟プラザ	8名
7月30日	デザイン総合実習 II（製品・張准教授、柿山講師、三谷講師、小宮講師）	製品・アトリエ	4名
1月21日	総合実習 III（製品コース教員）	アトリエ	6名
1月27日	家具・インテリアデザイン（空間・那須講師）	デザイン実習室1	4名
2月7日	総合実習 I（空間コース教員）	階段教室	9名
2月7日	総合実習 I（コンテンツ・細谷准教授）	デザイン実習室2	3名
2月7日	総合実習 I（メディア・武田准教授）	C302	3名
1月31日、 2月4日	基礎看護技術論（杉田講師）	4階実習室	1名

5. 授業評価アンケート所見

- ・平成21年度後期分および平成22年度前期分を学内HP及び両キャンパス図書館にて公開

6. 北海道地区FD・SD推進協議会

- (1) 幹事会 7月15日（出席1名）
- (2) 総会 10月20日（出席1名）